

枚方市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果
(速報)

令和元年6月

枚方市

第 1 章 調査の概要

(1) 調査目的

枚方市では、子ども・子育て支援法に基づき、平成 27 年 3 月に「枚方市子ども・子育て支援事業計画」（期間：平成 27 年度～平成 31 年度）を策定し、子ども・子育て施策の総合的かつ計画的な推進に努めている。本計画の計画期間が平成 31 年度までであることから、この計画を引き継ぐ、第 2 期計画（期間：令和 2 年度～令和 6 年度）を策定することとしている。

本調査は、第 2 期計画の策定にあたって、市民が必要としている子ども・子育て支援などに関する施策の必要量や施策に対する意向を把握し、今後の魅力ある子ども・子育て施策の検討に活かすための調査である。

(2) 調査対象

- 就学前児童・小学生：平成 30 年 12 月 14 日現在、住民基本台帳から無作為に抽出した対象者（就学前児童 3,000 人、小学生 3,000 人）の保護者
- 幼稚園児：公私立の幼稚園児（満 3 歳～5 歳 2,017 人）の保護者

(3) 調査方法

- 就学前児童・小学生：郵送による配布・回収
- 幼稚園児：市内の公私立幼稚園を通じ配布、郵送による回収

(4) 調査期間

- 就学前児童：平成 31 年 1 月 9 日～1 月 29 日
- 小学生：平成 31 年 1 月 11 日～1 月 31 日
- 幼稚園児：平成 31 年 1 月 10 日～1 月 29 日

(5) 回収結果

回収結果は下表のとおりである。

	配布数 (件)	有効回収数 (件)	有効回収率 (%)	【参考】 前回 (H25 年度) 調査 有効回収率 (%)
就学前児童	3,000	1,831	61.0	53.1
小学生	3,000	1,760	58.7	54.2
幼稚園児	2,017	1,290	64.0	71.7

※前回、幼稚園児調査の回収は園を通じて行った。

(6) 速報の見方

- 集計図表は、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても 100%にならない場合もある。
- 回答比率はその設問の回答者数を母数として算出した。したがって、複数回答の設問では、すべての比率を合計すると 100%を超える場合もある。
- 図表の「N」は質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

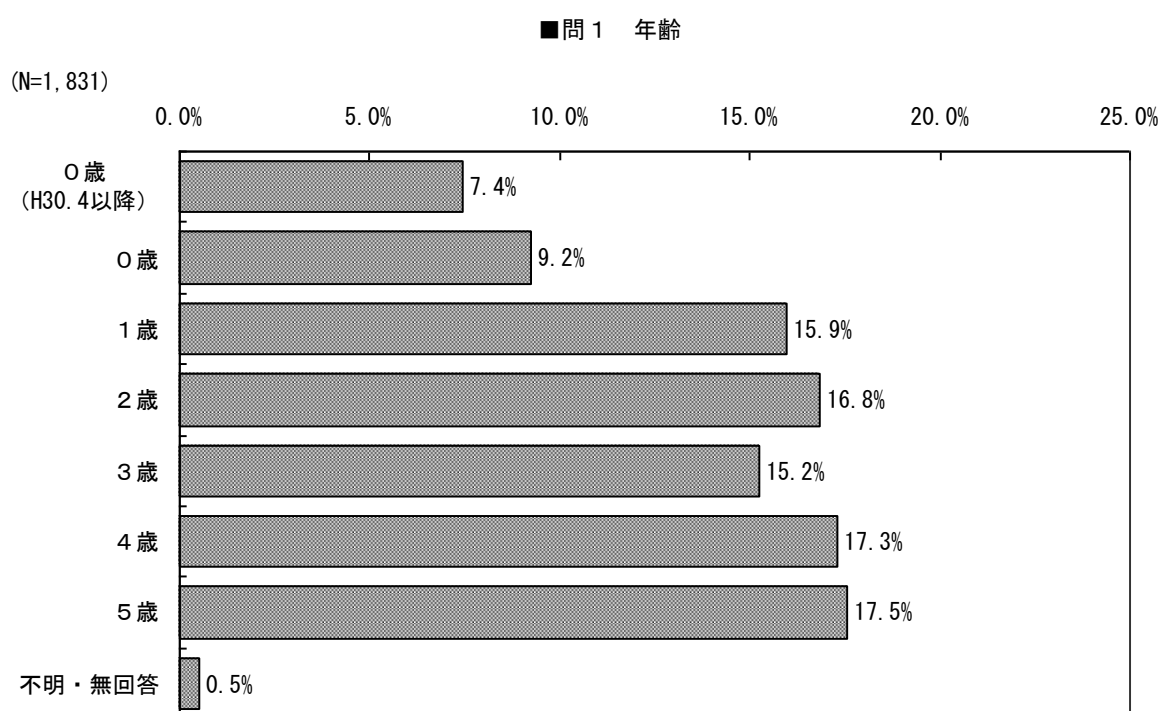
第2章 調査結果の概要

1. 就学前児童

問1 子どもの年齢

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

年齢をみると、「5歳」が17.5%、「4歳」が17.3%、「2歳」が16.8%となっている。

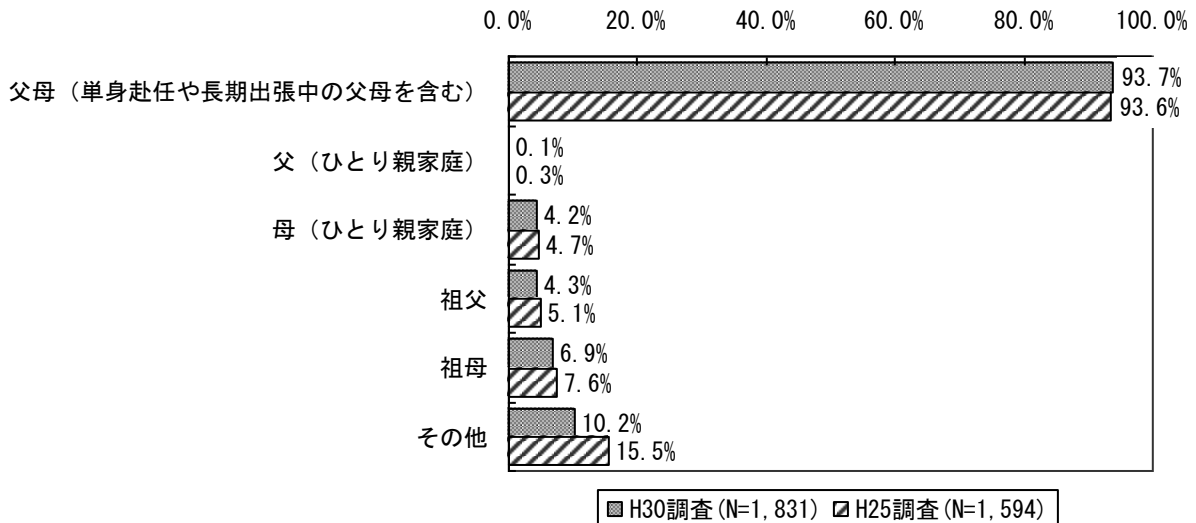


問3 子どもとの同居の状況

問3 お子さんとの同居の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

子どもと同居している人を見ると、「父母」が93.7%で最も多く、次いで「その他」(10.2%)、「祖母」(6.9%)となっている。

■問3 子どもと同居している人（複数回答）

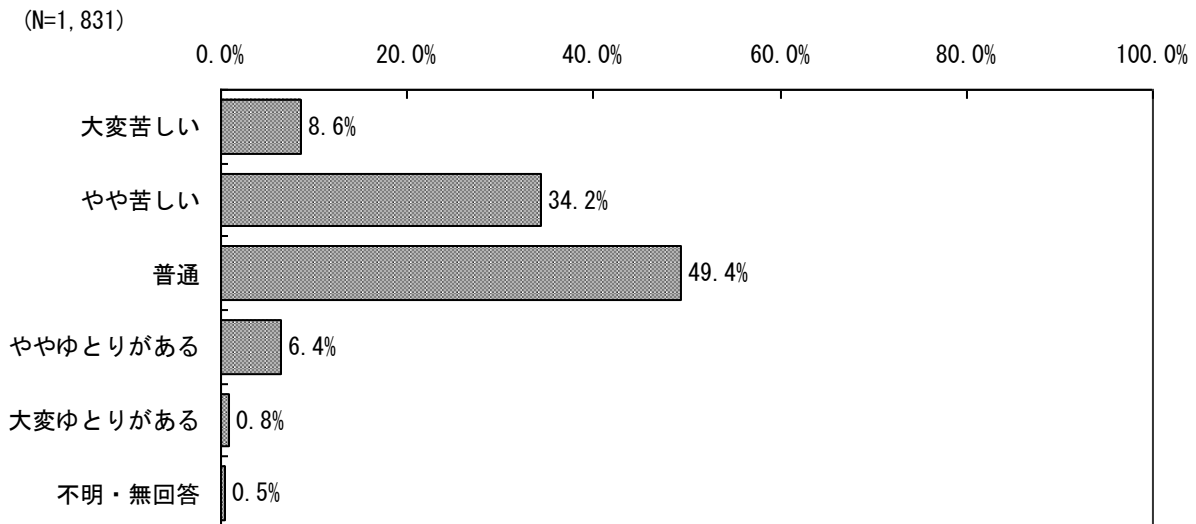


問8 現在の暮らし向き

問8 世帯の現在の経済的な暮らし向きについて、どう感じていますか。（○は1つ）

暮らし向きをみると、「普通」が49.4%で最も多く、次いで「やや苦しい」(34.2%)、「大変苦しい」(8.6%)となっている。

■問8 暮らし向き

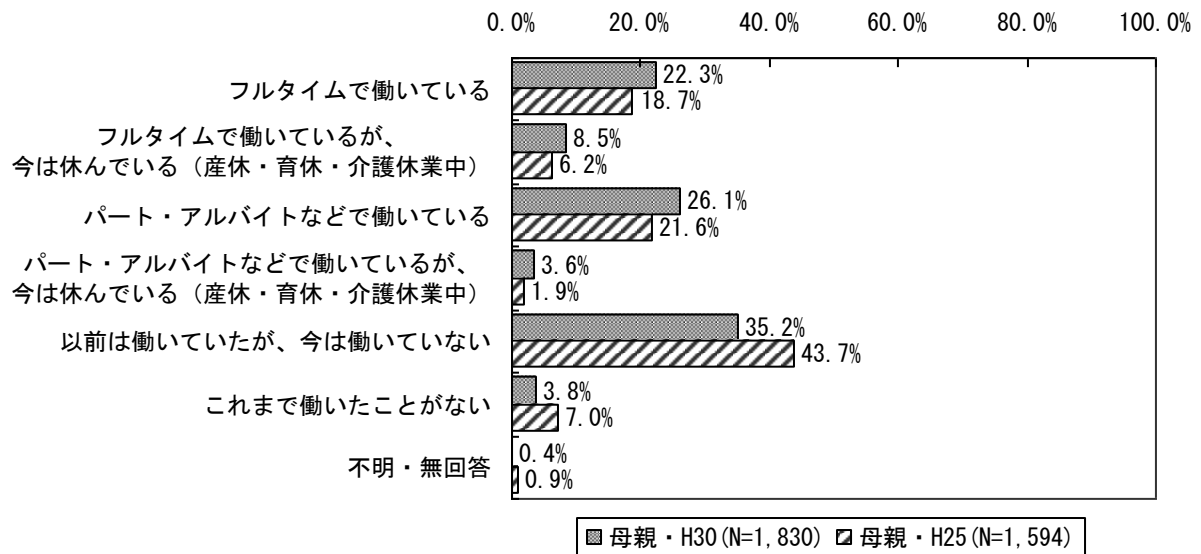


問9 現在の就労状況

問9 「母親」の働いている状況についてお伺いします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。(〇は1つ)

現在の就労状況をみると、母親では「以前は働いていたが、今は働いていない」が35.2%で最も多く、次いで「パート・アルバイトなどで働いている」(26.1%)、「フルタイムで働いている」(22.3%)となっている。

■問9 母親の現在の就労状況

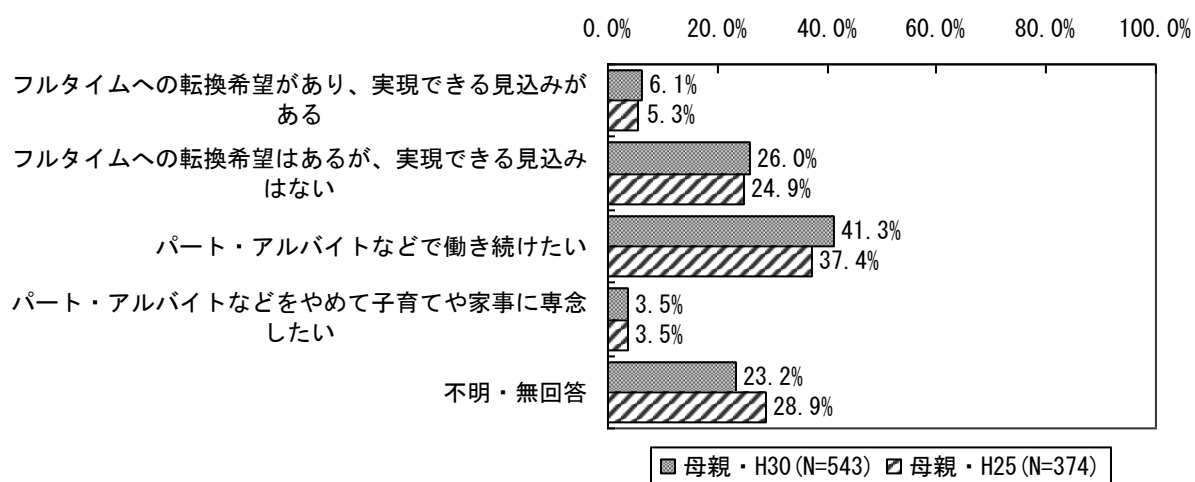


問 11 フルタイムへの転換希望

問 11 問9の就労状況で、「3.」または「4.」を選ばれた、パート・アルバイトなどで働いている方（休業中の方も含む）にお伺いします。
フルタイムへの転換希望はありますか。

フルタイムへの転換希望をみると、母親では「パート・アルバイトなどで働きたい」が41.3%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(26.0%)、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(6.1%)となっている。

■問 11 (1) 母親のフルタイムへの転換希望



問 12 就労希望

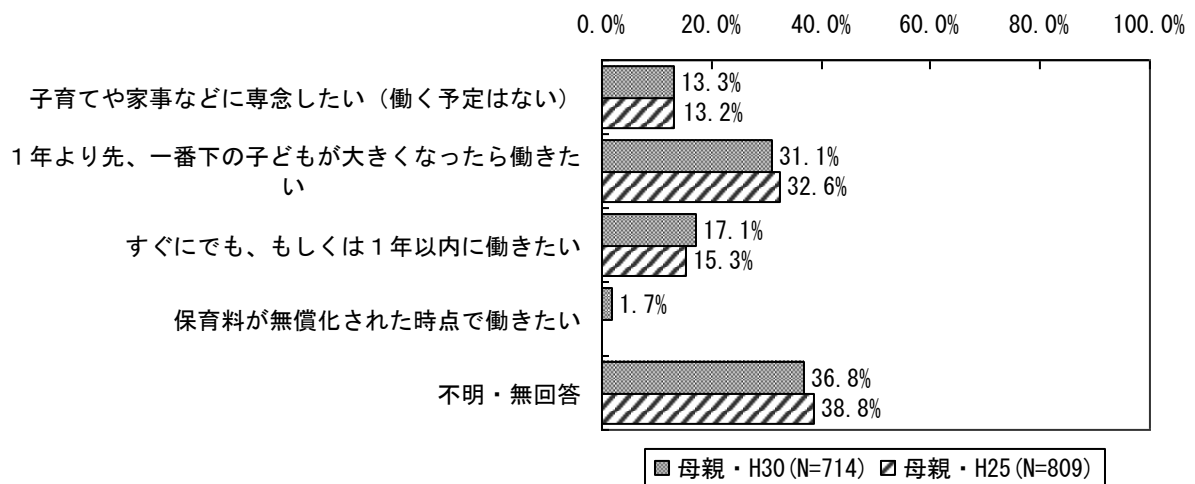
問 12 問9の就労状況で「5.」または「6.」を選ばれた、仕事をお持ちでない方にお伺いします。

働きたい希望はありますか。カッコ内には具体的な数字を入れてください。

就労希望をみると、母親では「1年より先、一番下の子どもが大きくなったら働きたい」が31.1%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」(17.1%)、「子育てや家事などに専念したい」(13.3%)となっている。

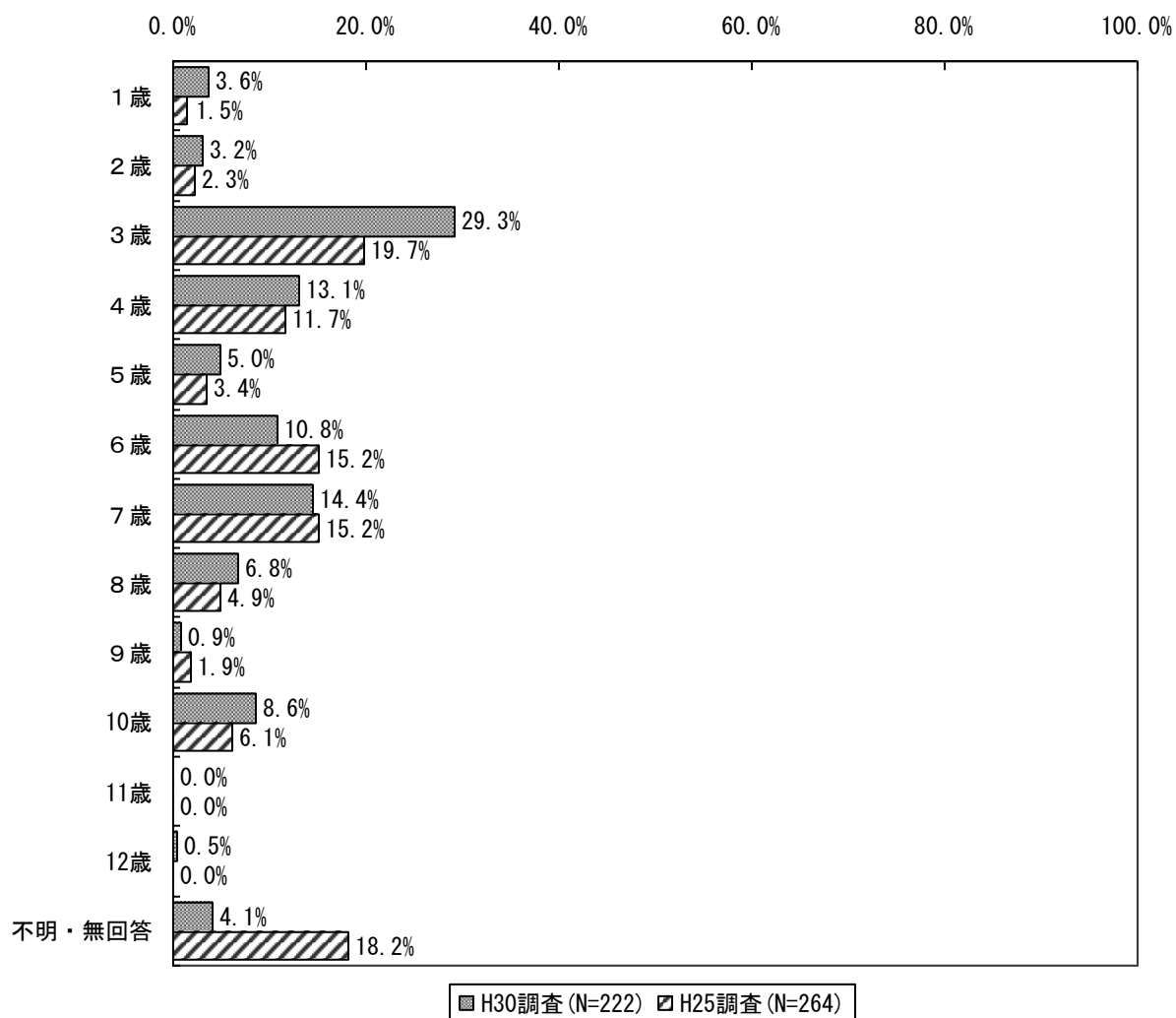
母親が就労を希望する末子の年齢をみると、「3歳」が29.3%で最も多く、次いで「7歳」(14.4%)、「4歳」(13.1%)となっている。

■問 12 (1) 未就労の母親の就労希望



※H25 調査には選択肢「保育料が無償化された時点で働きたい」なし

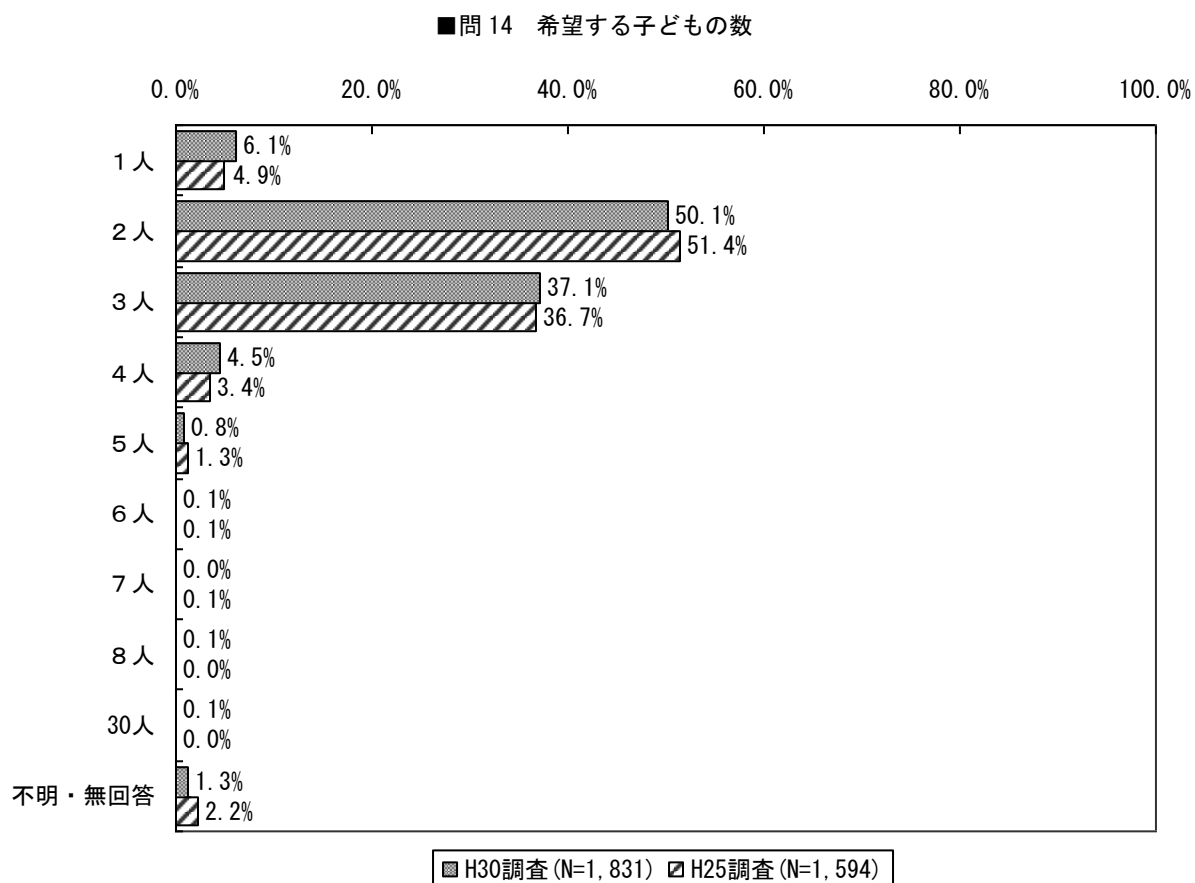
■問 12 (1) 母親が就労を希望する末子の年齢



問 14 希望する子どもの人数

問 14 希望するお子さんの数は何人ですか。

希望する子どもの数を見ると、「2人」が50.1%で最も多く、次いで「3人」(37.1%)、「1人」(6.1%)となっている。

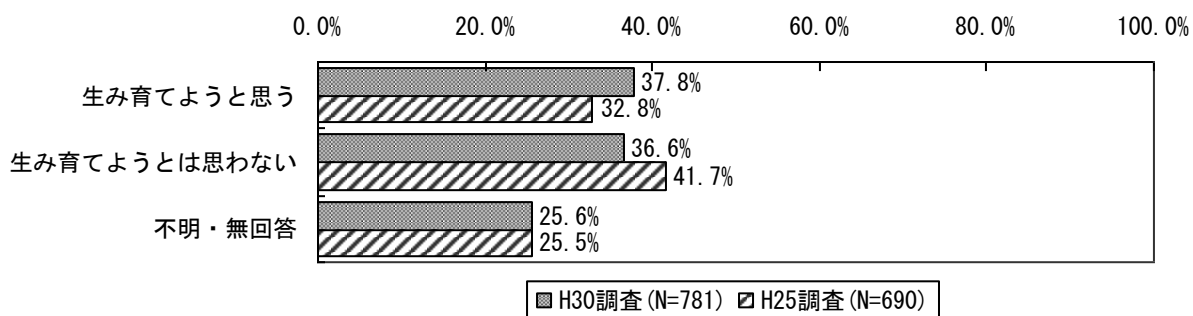


問 15 現在の環境においてもう一人子どもを生き育てること

問 15 希望するお子さんの数が現在のお子さんの数より多い方にお伺いします。
現在の家庭・教育環境等において、もう一人子どもを生き育てようと思えますか。(○は1つ)

現在の環境においてもう一人生き育てることについてみると、「生き育てようと思う」が37.8%、「生き育てようとは思わない」が36.6%となっている。

■問 15 現在の環境においてもう一人生き育てることについて

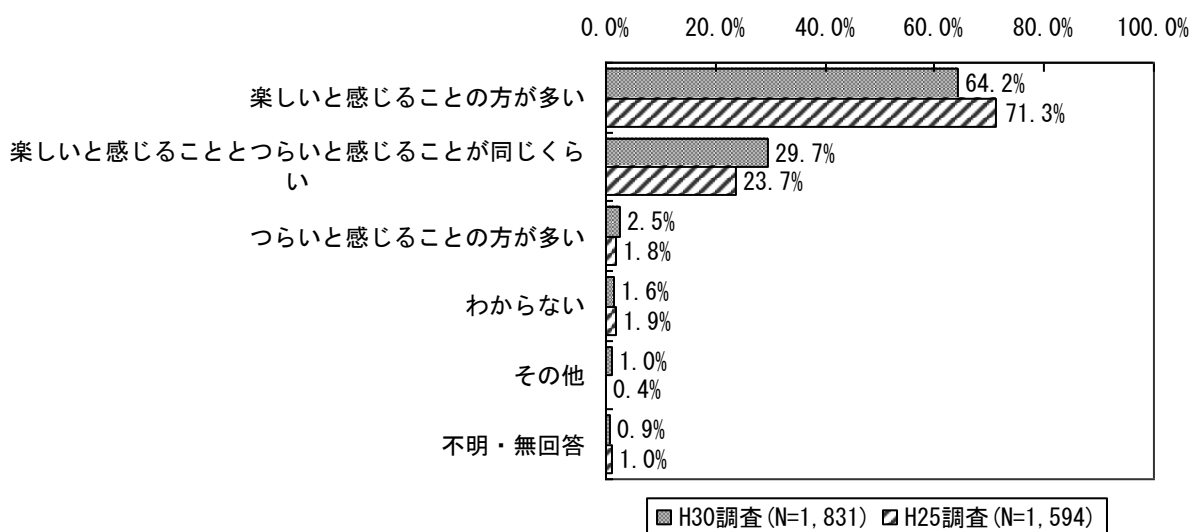


問 16 子育てに対する意識

問 16 子育てについて、どのように感じていますか (○は1つ)

子育てに対する意識をみると、「楽しいと感じることの方が多い」が64.2%で最も多く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」(29.7%)、「つらいと感じることの方が多い」(2.5%)となっている。

■問 16 子育てに対する意識



問 18 子育てにおける日常的な悩みや気になること

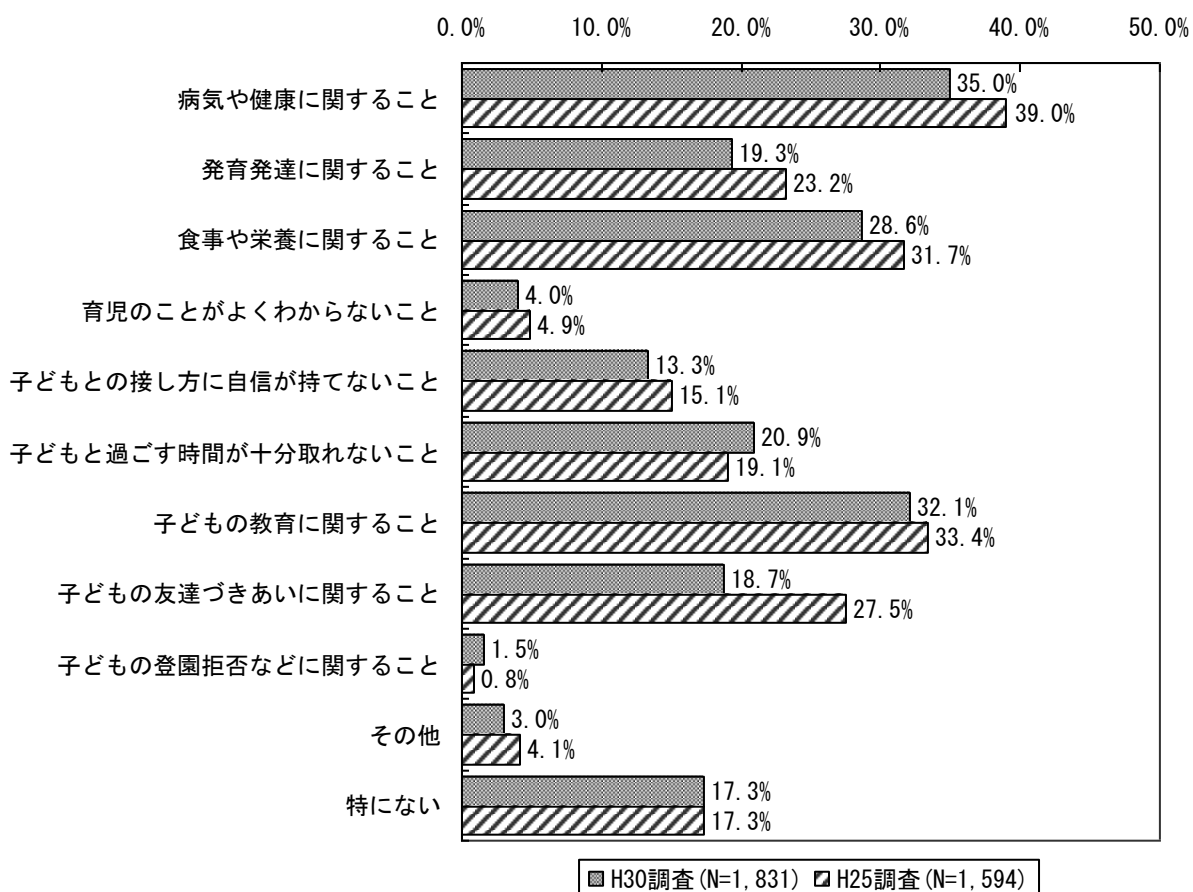
問 18 子育てに関して、あなたが日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。また、「2. 発達発達に関すること」を選ばれた場合は、具体的な内容に○をつけてください。

子どもに関して悩んでいることをみると、「病気や健康に関すること」が 35.0%で最も多く、次いで「子どもの教育に関すること」(32.1%)、「食事や栄養に関すること」(28.6%)となっている。また、「発達発達に関すること」は 19.3%、「特にない」は 17.3%となっている。

発達発達に関して悩んでいることをみると、「落ち着きがない」が 42.5%で最も多く、次いで「言葉の発達が遅い」(30.6%)、「かんしゃくをよく起こす」(30.3%)となっている。

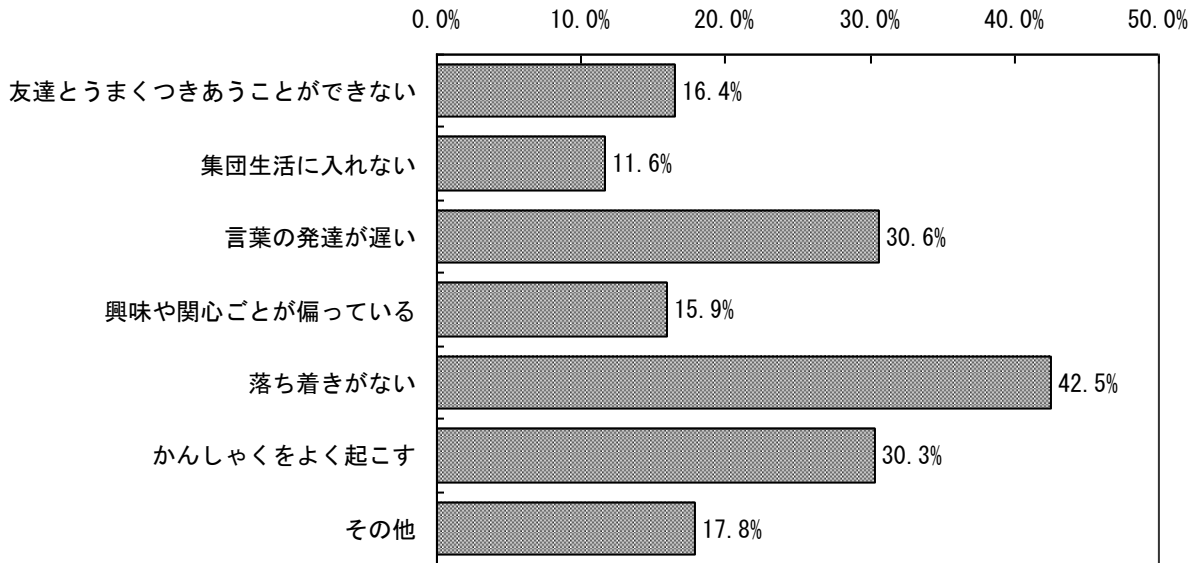
自分自身に関して悩んでいることをみると、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 36.3%で最も多く、次いで「子育てにかかる出費がかさむこと」(33.6%)、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」(24.5%)となっている。また、「特にない」は 16.5%となっている。

■問 18 (1) 子どもに関して悩んでいること (複数回答)

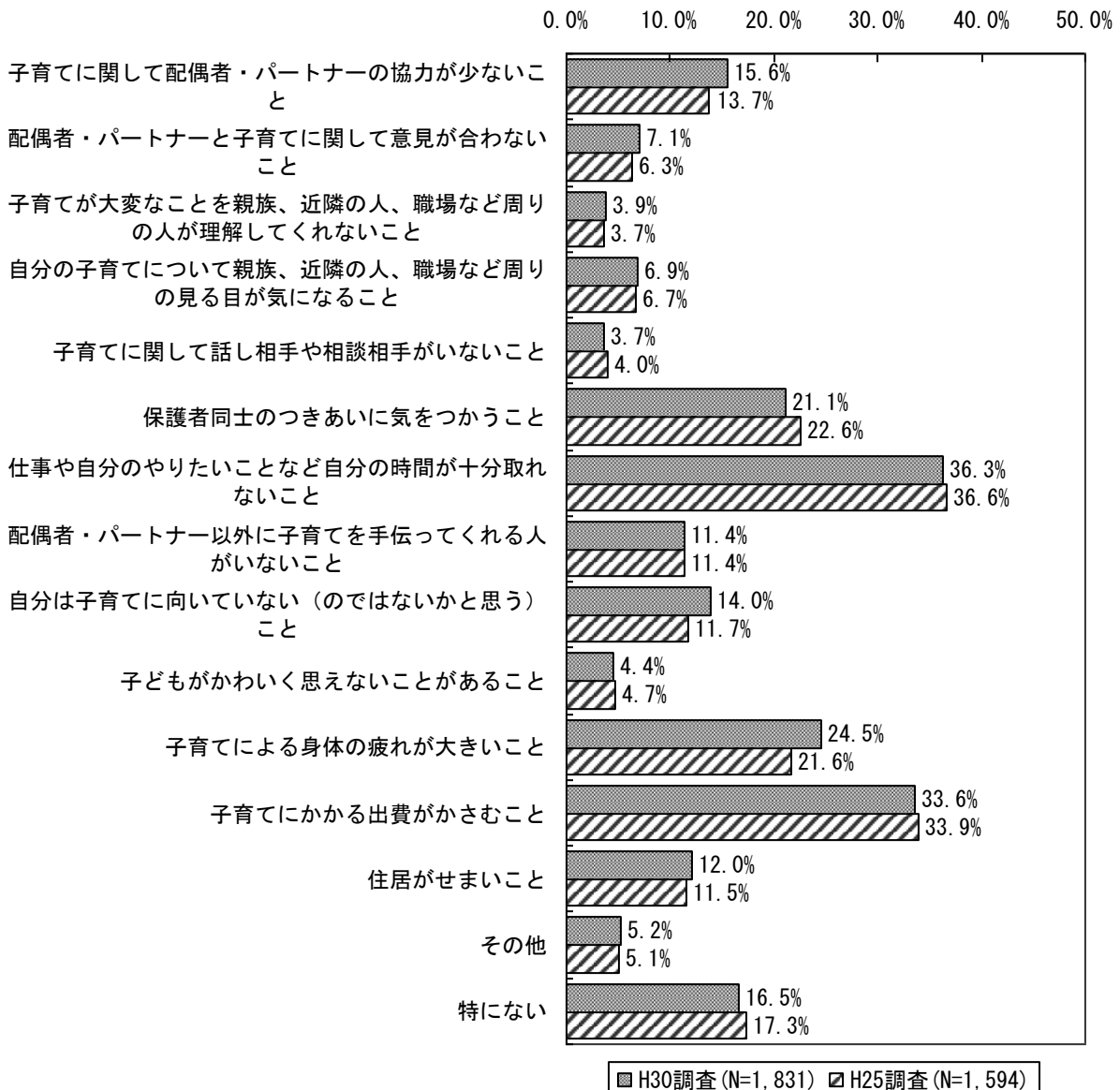


■問 18（1）付問 発育発達に関して悩んでいること（複数回答）

(N=353)



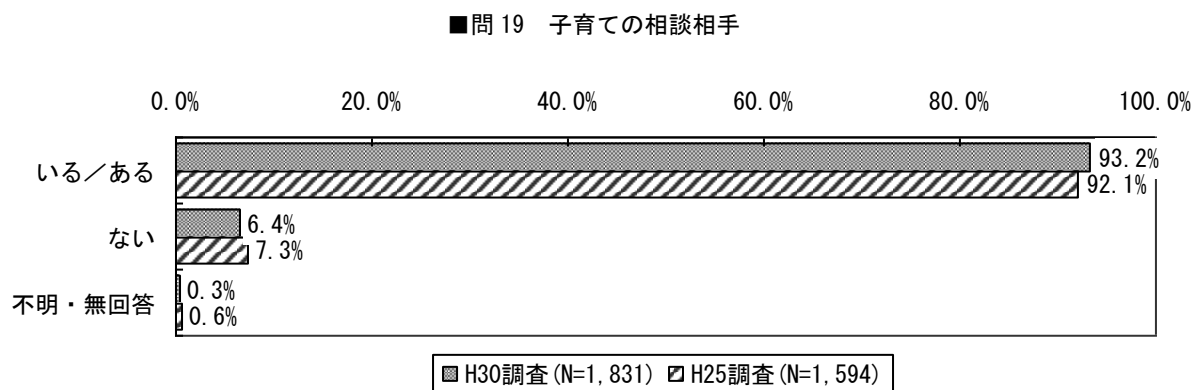
■問 18（2） 自分自身に関して悩んでいること（複数回答）



問 19 子育てや健康、教育について気軽に相談できる人、場所

問 19 お子さんの子育てや健康や教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)

子育ての相談相手/場所をみると、「いる/ある」が93.2%、「ない」が6.4%となっている。



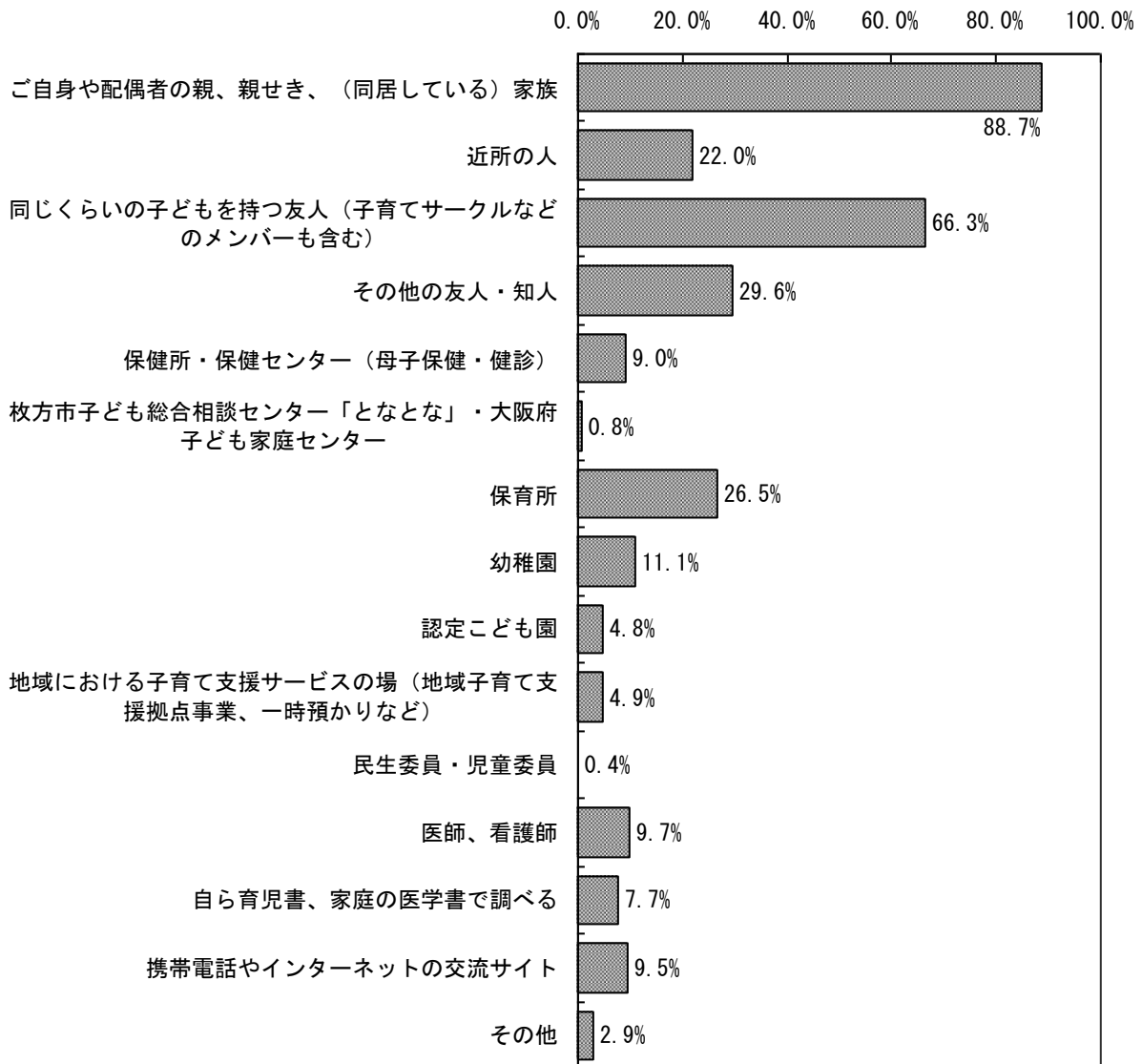
問 19-1 子育てや健康、教育についての相談先

問 19-1 問 19 で「1. お子さんの健康や教育など子育てについて、気軽に相談できる人や場所がある／ある」を選ばれた方にお伺いします。
 気軽に相談できるのは、どのような人や場所などですか。(〇はいくつでも)

子育てや健康、教育についての相談先をみると、「ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族」が 88.7% で最も多く、次いで「同じくらいの子どもを持つ友人(子育てサークルなどのメンバーも含む)」(66.3%) となっている。

■問 19-1 子育てや健康、教育についての相談先(複数回答)

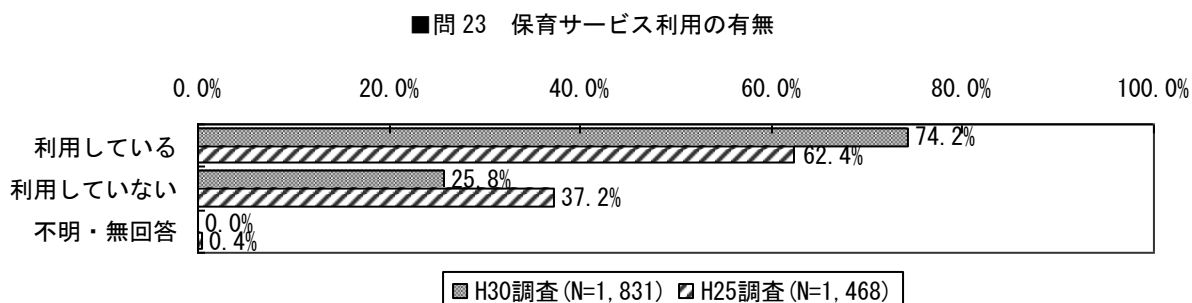
(N=1,707)



問 23 保育サービス利用の有無

問 23 平日（月曜日～金曜日）に、「幼稚園」や「保育所」などの子どもを預かる施設やサービスを「定期的に」利用されていますか。（○は1つ）

保育サービス利用の有無をみると、「利用している」が74.2%、「利用していない」が25.8%となっている。

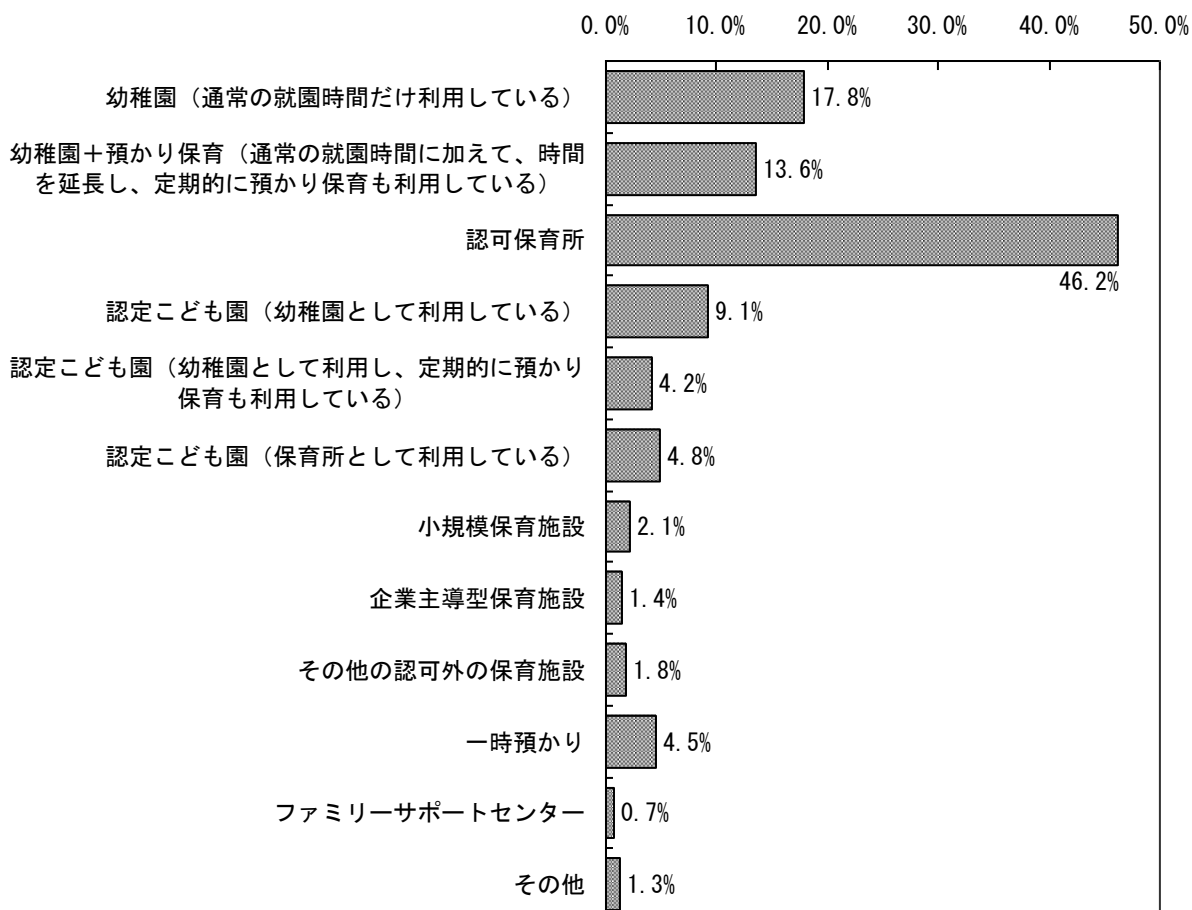


問 23-1 現在の保育サービスの利用状況

問 23-1 問 23 で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。
 お子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて平日に定期的に利用されているサービスに、○をつけてください。（○はいくつでも）

現在の保育サービスの利用状況をみると、「認可保育所」が46.2%で最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間だけ利用している）」（17.8%）、「幼稚園+預かり保育（通常の就園時間に加えて、時間を延長し、定期的に預かり保育も利用している）」（13.6%）となっている。

■問 23-1 現在の保育サービスの利用状況（複数回答）
 (N=1,358)



問 23-2 現在利用している幼稚園や保育所の利用日数・利用時間、希望日数・利用時間

問 23-2 問 23 で「平日（月曜日～金曜日）に、「幼稚園」や「保育所」などの子どもを預かる施設やサービスを定期的に利用している」を選ばれた方にお伺いします。
現在利用している幼稚園や保育所などについて、もっとも多いパターンとして、1週間に、また、1日あたりどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。カッコ内に具体的な数字を入れてください。

（1）現在

現在の幼稚園や保育所などの1週あたりの利用日数をみると、「5日」が82.1%で最も多くなっている。

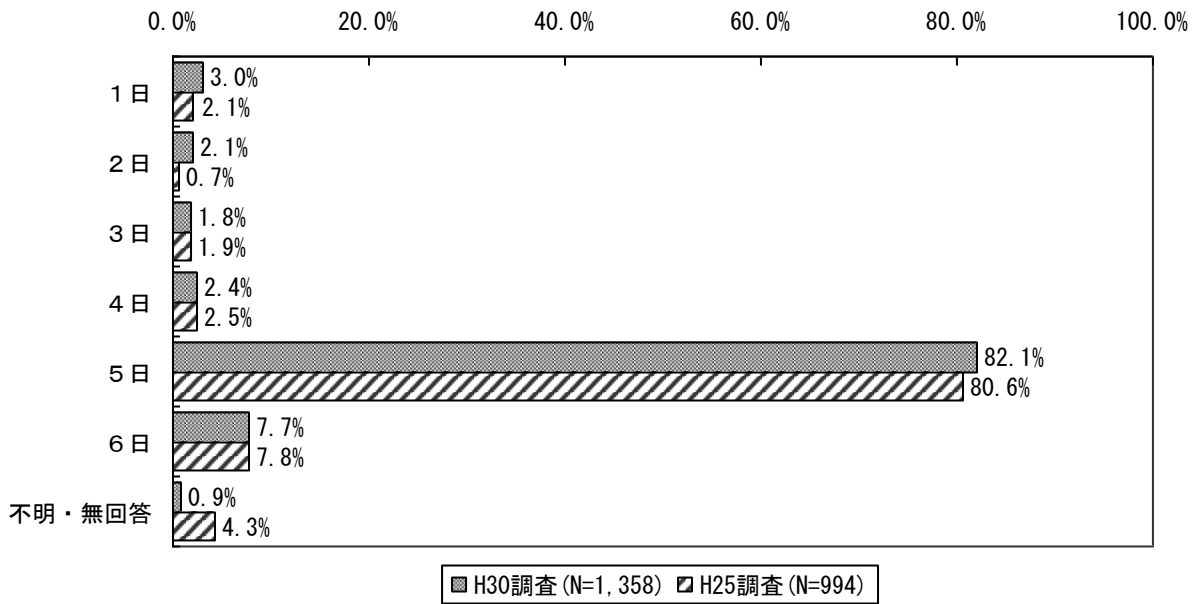
現在の1日あたりの利用時間をみると、「8時間～10時間未満」が34.0%で最も多く、次いで「10時間～12時間未満」（21.1%）、「6時間～8時間未満」（21.0%）となっている。

（2）希望

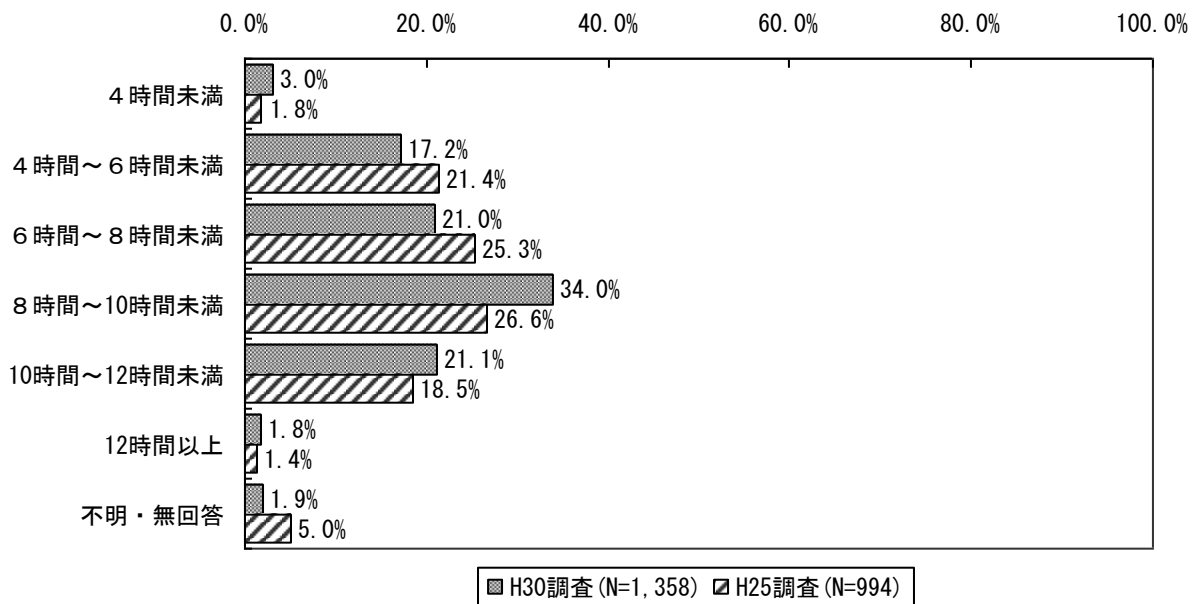
希望する幼稚園や保育所などの1週あたりの利用日数をみると、「5日」が62.3%で最も多くなっている。

希望する1日あたりの利用時間をみると、「8時間～10時間未満」が27.8%で最も多く、次いで「6時間～8時間未満」（21.1%）、「10時間～12時間未満」（17.1%）となっている。

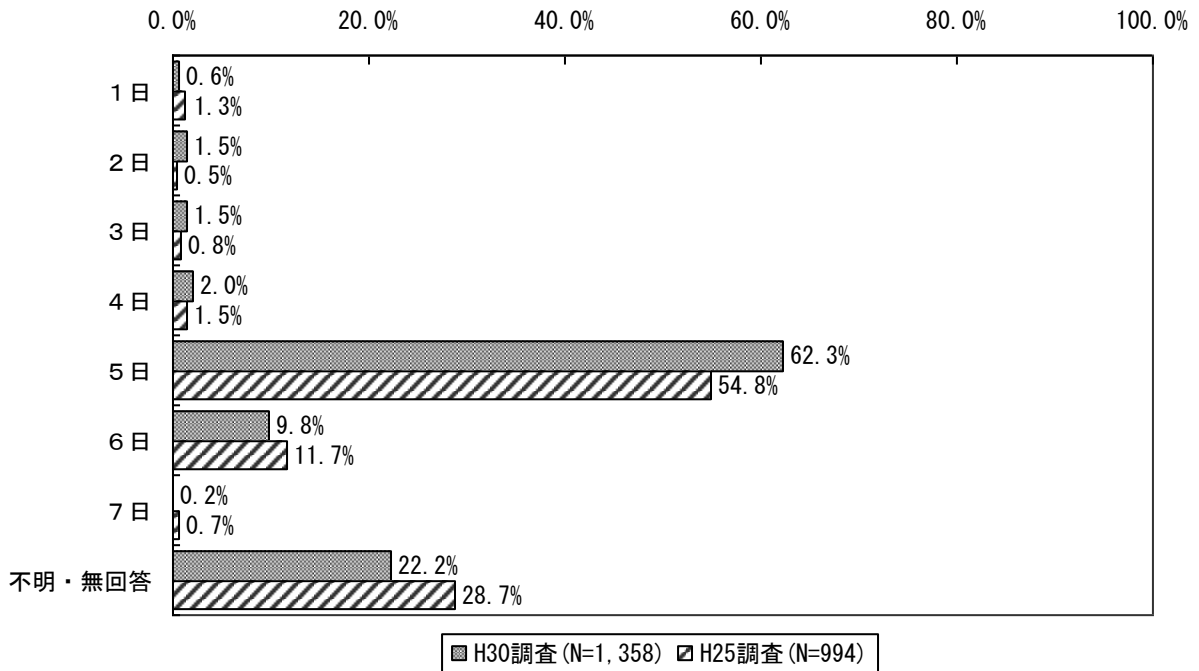
■問 23- 2 (1) 現在幼稚園や保育所などの利用日数/週



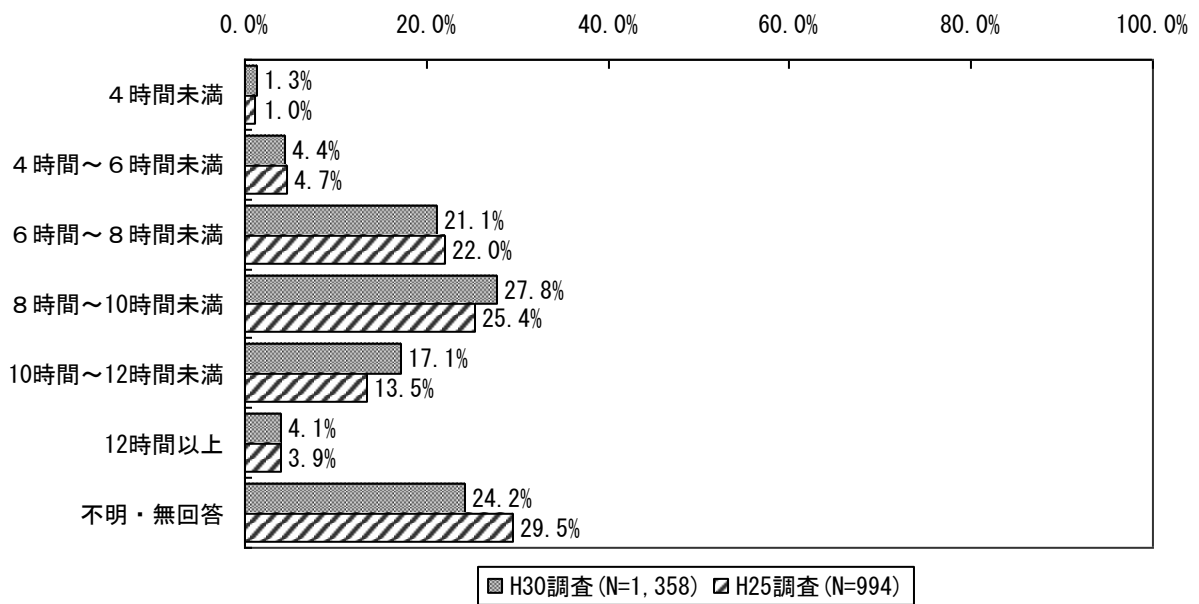
■問 23- 2 (1) 現在の利用時間



■問 23-2 (2) 希望する幼稚園や保育所などの利用日数/週



■問 23-2 (2) 希望利用時間

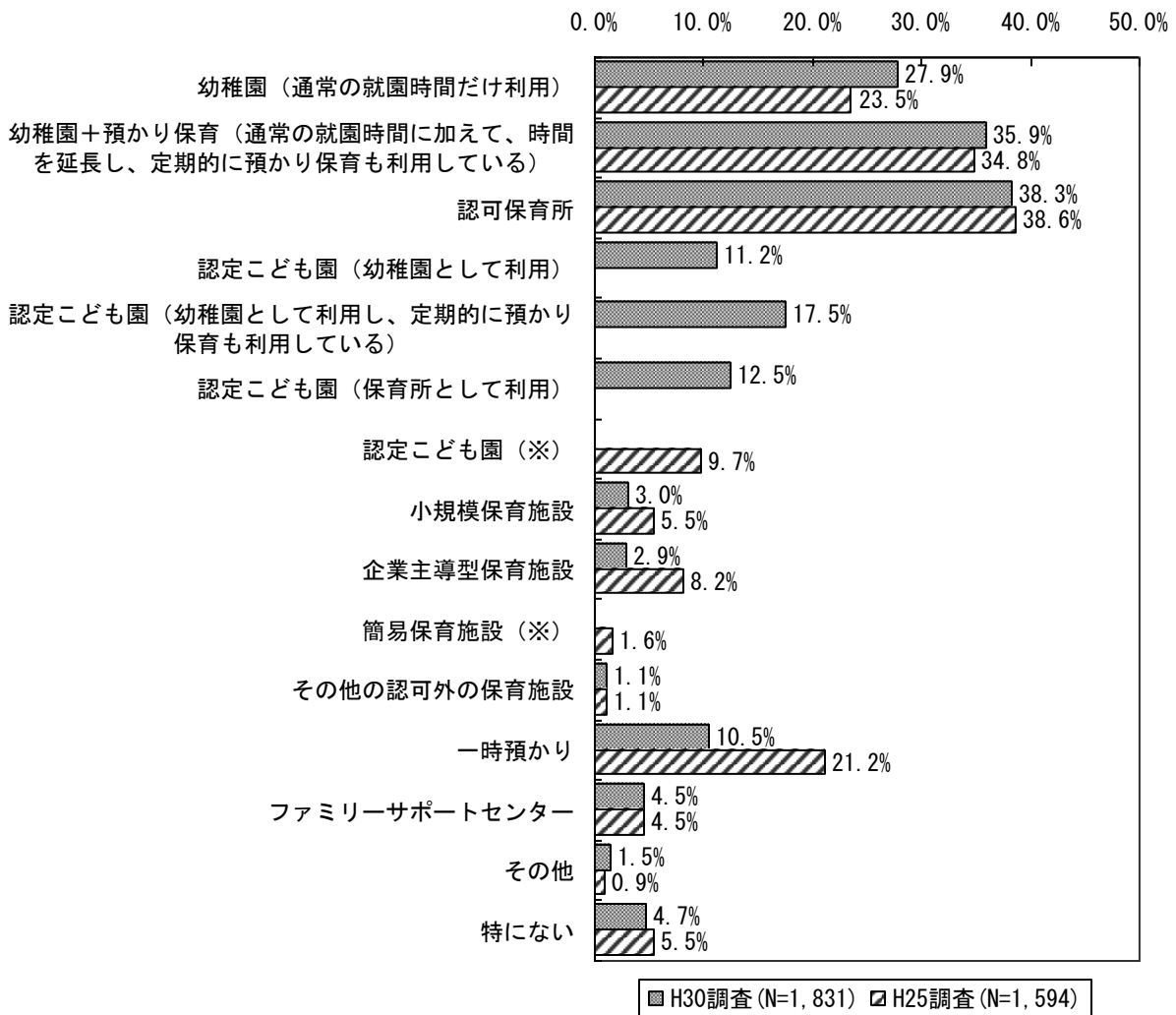


問 24 平日に利用したい保育サービス

問 24 幼稚園や保育所などを、現在利用している、利用していないにかかわらず、お子さんに平日に「定期的に」利用させたいもの（継続も含む）をお答えください。（〇はいくつでも）

平日に利用したい保育サービスをみると、「認可保育所」が 38.3%で最も多く、次いで「幼稚園＋預かり保育（通常の就園時間に加えて、時間を延長し、定期的に預かり保育も利用している）」（35.9%）、「幼稚園（通常の就園時間だけ利用）」（27.9%）となっている。

■問 24 平日に利用したい保育サービス（複数回答）



※H30 調査には選択肢「認定こども園」「簡易保育施設」なし

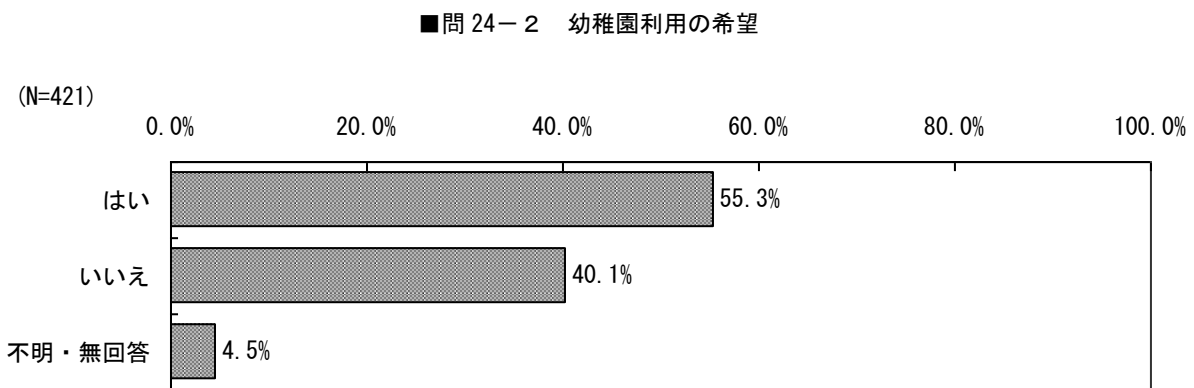
※H25 調査には選択肢「認定こども園（幼稚園として利用している）」「認定こども園（幼稚園として利用し、定期的に預かり保育も利用している）」「認定こども園（保育所として利用している）」がなく、選択肢「認定こども園」だった

※H25 調査には選択肢「企業主導型保育施設」がなく、選択肢「事業所内保育施設」だった

問 24-2 特に幼稚園の利用を強く希望するか

問 24-2 問 24 で幼稚園等の利用を希望（「1. 幼稚園」「2. 幼稚園+預かり保育」「4. 認定こども園（幼稚園として利用）」「5. 認定こども園（幼稚園+預かり保育）」のいずれかを選択）している方で、その他の保育サービスの利用も希望（「3. 認可保育所」または「6.」～「12.」のいずれかを選択）している方にお伺いします。
他の施設より、特に幼稚園または認定こども園（幼稚園として利用）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

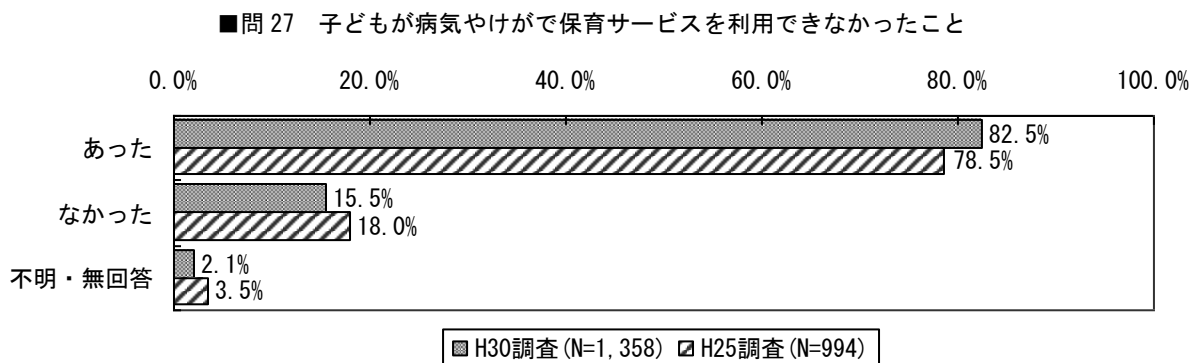
幼稚園利用の希望をみると、「はい」が55.3%、「いいえ」が40.1%となっている。



問 27 子どもが病気やけがで保育サービスを利用できなかったこと

問 27 平日に定期的に幼稚園や保育所などを利用していると答えた保護者の方に、お伺いします。
この1年間に、お子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所などを利用できなかったことはありますか。（○は1つ）

子どもが病気やけがで保育サービスを利用できなかったことをみると、「あった」が82.5%、「なかった」が15.5%となっている。

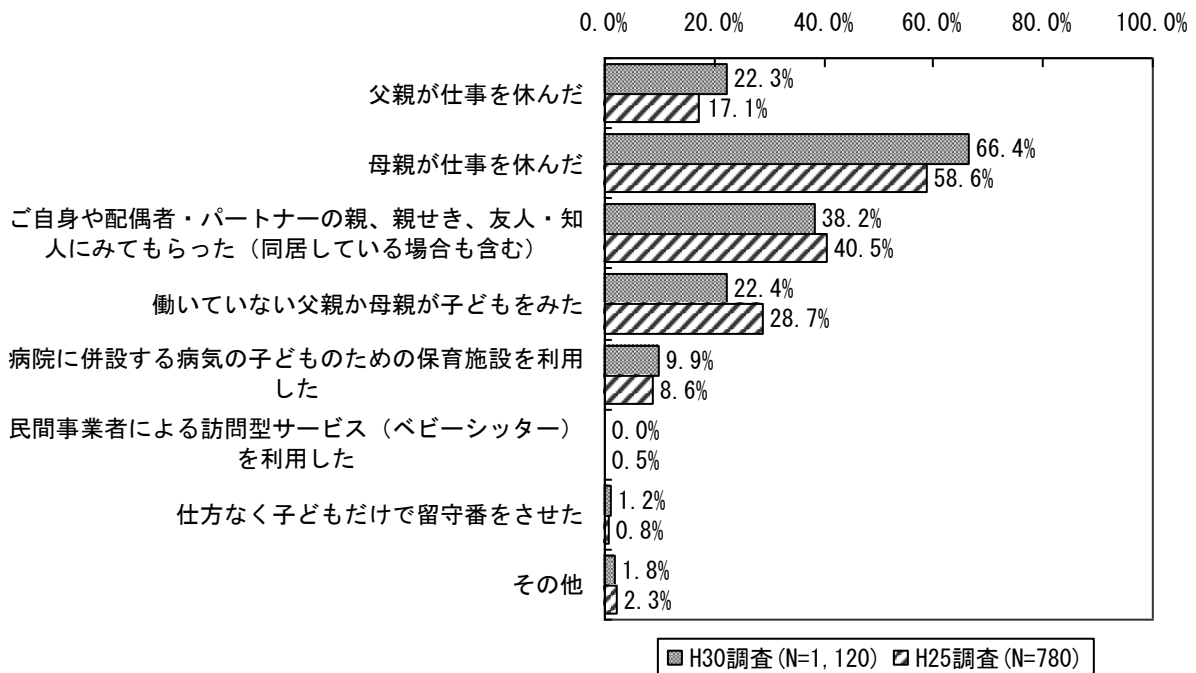


問 27-1 利用できなかった時の対処方法

問 27-1 問 27 で「1. お子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所などを利用できなかったことがあった」を選ばれた方にお伺いします。
この1年間で、お子さんが病気で幼稚園や保育所などを利用できなかった場合の対処方法を選んでください。

利用できなかった時の対処方法をみると、「母親が仕事を休んだ」が 66.4%で最も多く、次いで「ご自身や配偶者・パートナーの親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」(38.2%)、「働いていない父親か母親が子どもをみた」(22.4%)となっている。

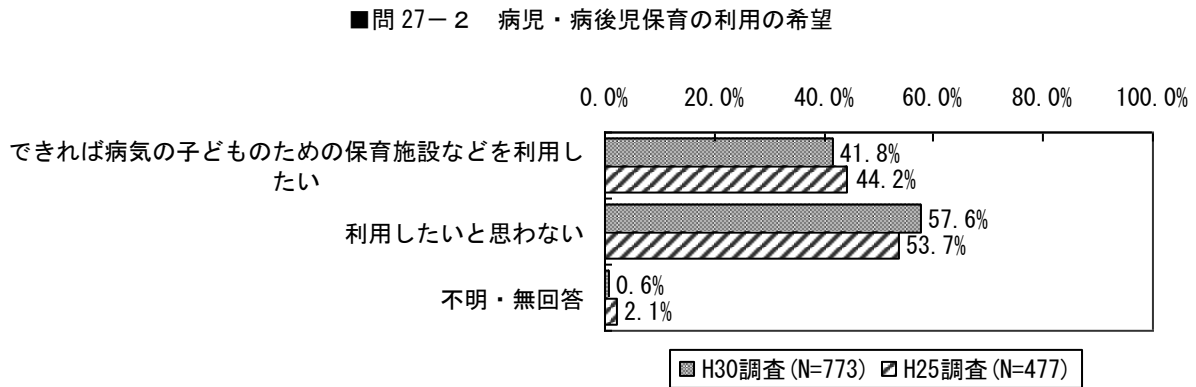
■問 27-1 利用できなかった時の対処方法（複数回答）



問 27-2 病児・病後児保育の利用希望

問 27-2 問 27-1 お子さんが病気で幼稚園や保育所などを利用できなかった場合の対処方法として、「ア. 父親が仕事を休んだ」「イ. 母親が仕事を休んだ」を選ばれた方にお伺いします。
そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。
(○は1つ)

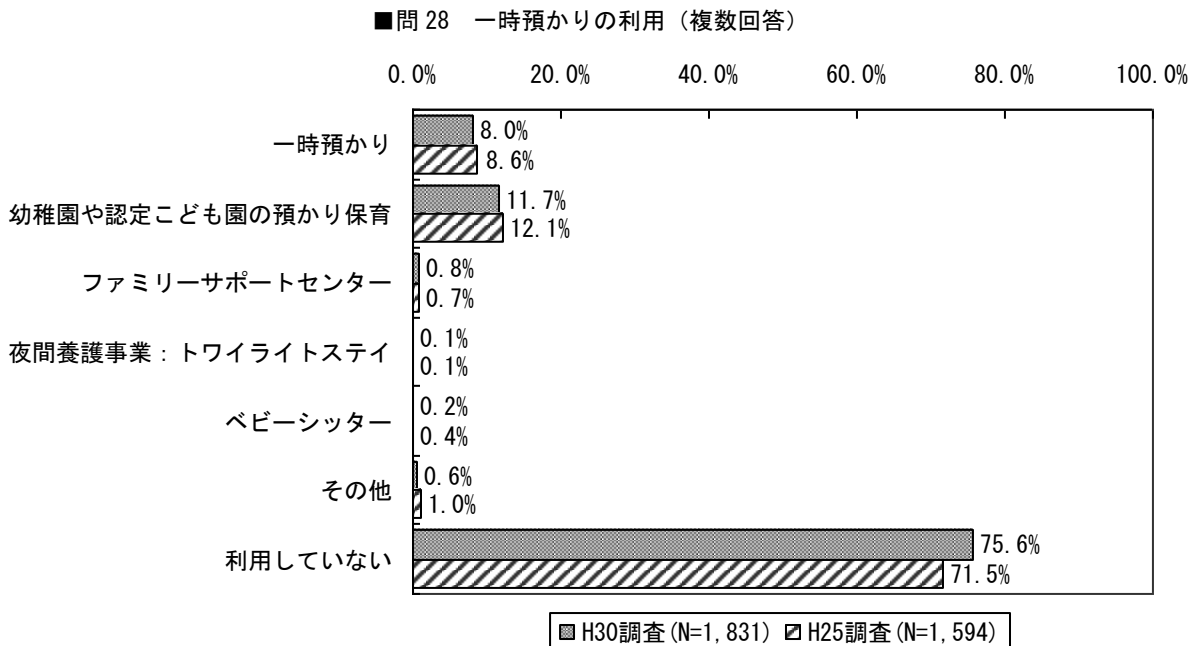
病児・病後児保育の利用の希望をみると、「利用したいと思わない」が 57.6%、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」が 41.8%となっている。



問 28 一時預かりの利用

問 28 この1年間に、私用、ご自身やご家族の通院、不規則な仕事やリフレッシュなどを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期に」利用しましたか。(○はいくつでも)

一時預かりの利用をみると、「利用していない」が 75.6%で最も多く、次いで「幼稚園や認定こども園の預かり保育」(11.7%)、「一時預かり」(8.0%)となっている。

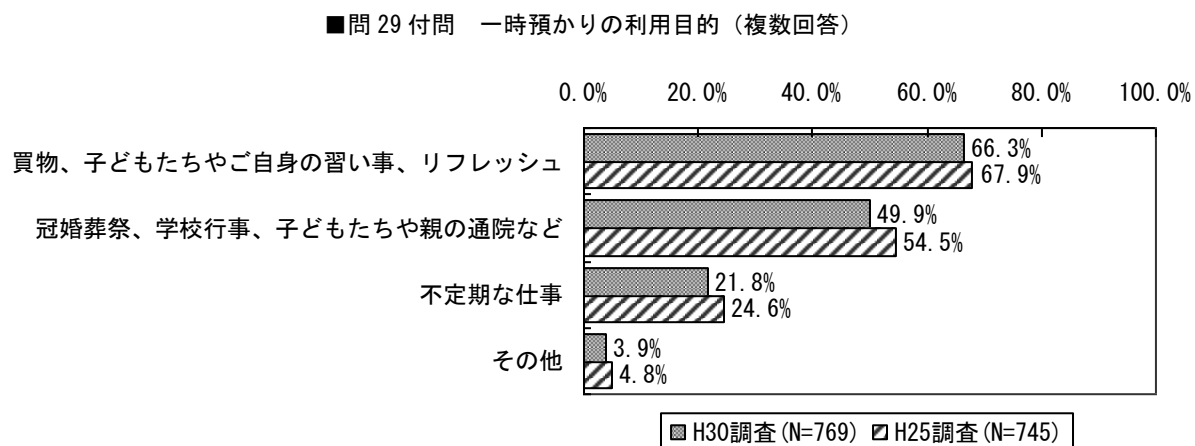
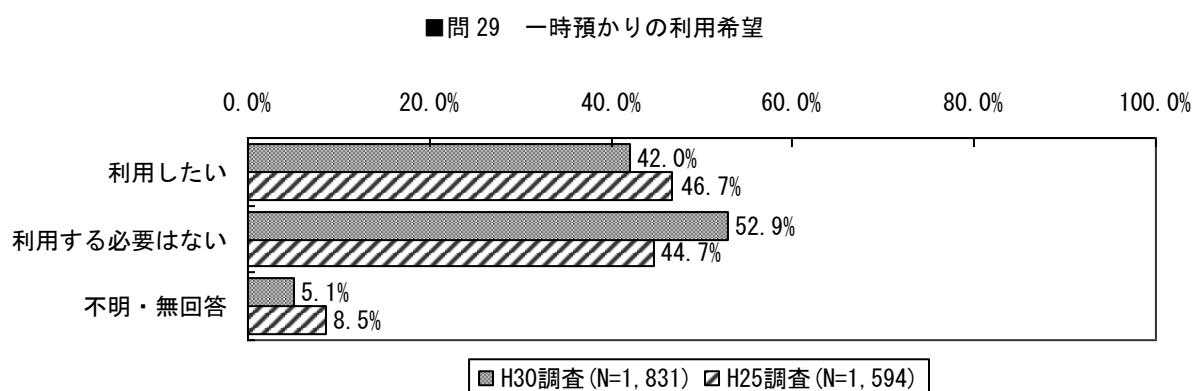


問 29 一時預かりの利用希望

問 29 私用、ご自身やご家族の通院、不規則な仕事やリフレッシュなどを理由に、保育所などで実施されている「一時預かり」について、利用したいと思いますか。(○は1つ)
また、利用したい場合、利用したい目的についても記入してください。

一時預かりの利用希望をみると、「利用する必要はない」が52.9%、「利用したい」が42.0%となっている。

一時預かりの利用目的をみると、「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」が66.3%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」(49.9%)、「不規則な仕事」(21.8%)となっている。



問 31・問 32 小学校での希望する放課後の過ごし方

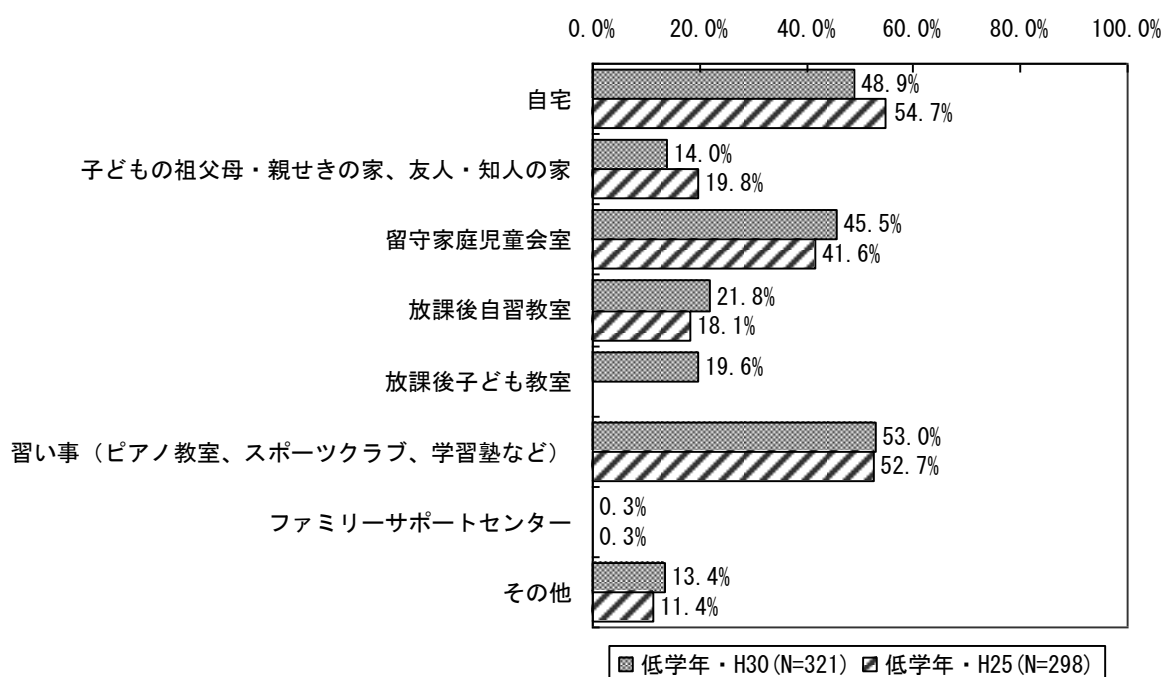
問 31 小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも）

問 32 小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも）

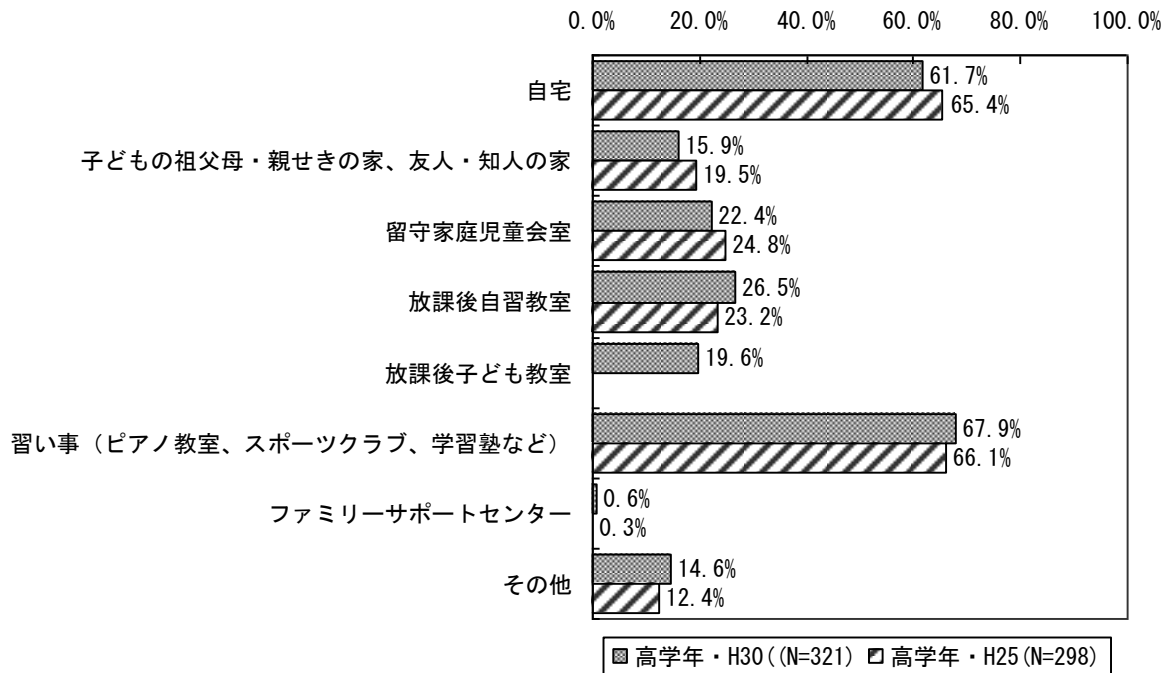
小学校低学年（1～3年生）での希望する放課後の過ごし方をみると、「習い事」が 53.0%で最も多く、次いで「自宅」（48.9%）、「留守家庭児童会室」（45.5%）となっている。

小学校高学年（4～6年生）での希望する放課後の過ごし方をみると、「習い事」が 67.9%で最も多く、次いで「自宅」（61.7%）、「放課後自習教室」（26.5%）となっている。

■問 31 小学校低学年（1～3年生）での希望する放課後の過ごし方（複数回答）



■問 32 小学校高学年（4～6年生）での希望する放課後の過ごし方（複数回答）



※H25 調査には選択肢「放課後子ども教室」なし

問 33 留守家庭児童会室の利用希望

問 33 問 31 または問 32 「小学校に入学したら、放課後の時間をどのような場所で過ごしたいか」について、「3. 留守家庭児童会室」を選ばれた方にお伺いします。
土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童会室の利用希望はありますか。(それぞれについて○は1つ)

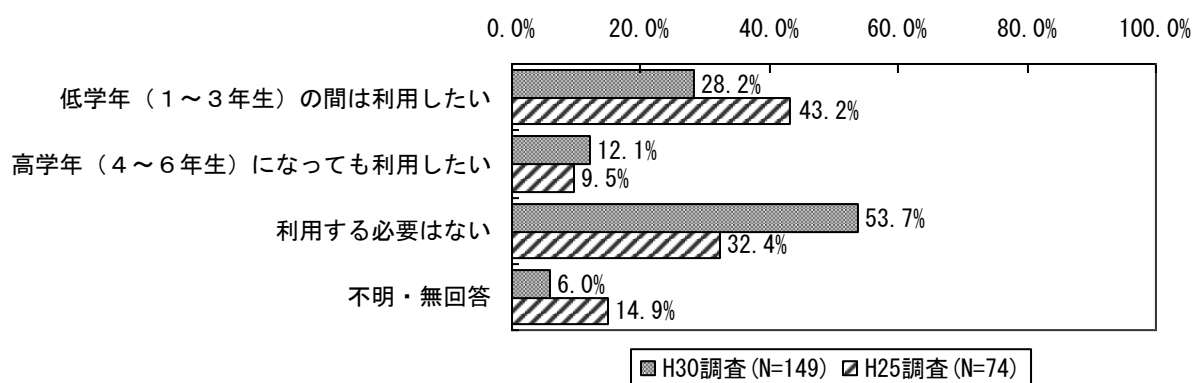
(1) 土曜日

土曜日の留守家庭児童会室の利用希望をみると、「利用する必要はない」が 53.7%で最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（28.2%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（12.1%）となっている。

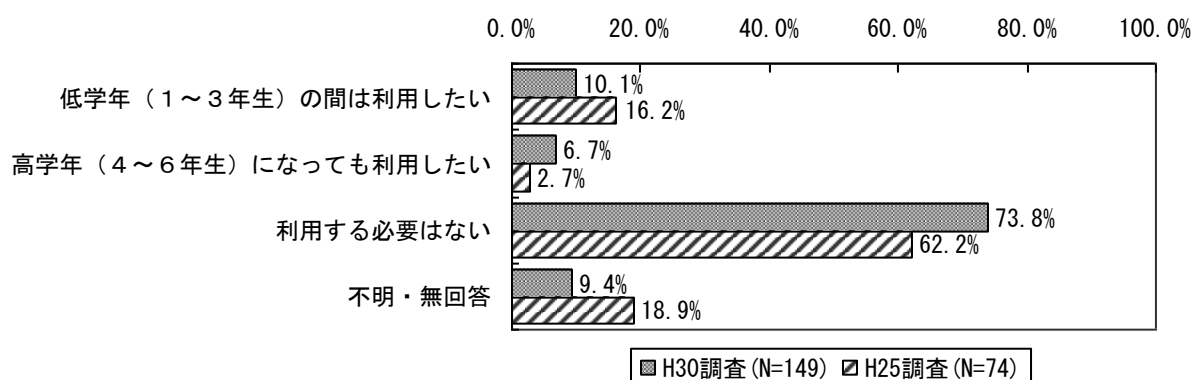
(2) 日曜日・祝日

日曜日・祝日の留守家庭児童会室の利用希望をみると、「利用する必要はない」が 73.8%で最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（10.1%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（6.7%）となっている。

■問 33 (1) 土曜日の留守家庭児童会室の利用希望



■問 33 (2) 日曜日・祝日の留守家庭児童会室の利用希望

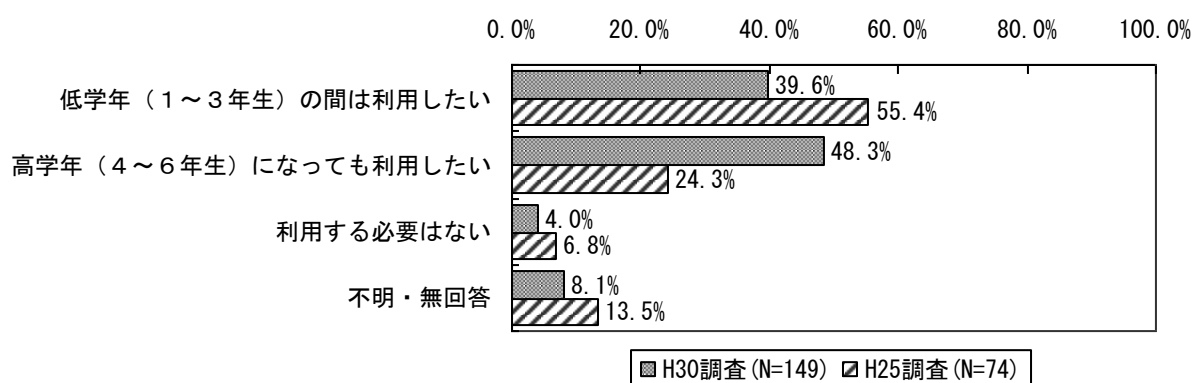


問 34 長期休暇中の留守家庭児童会室の利用希望

問 34 問 31 または問 32 「小学校に入学したら、放課後の時間をどのような場所で過ごしたいか」について、「3. 留守家庭児童会室」を選ばれた方にお伺いします。
 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の留守家庭児童会室の利用希望はありますか。
 (○は1つ)

長期休暇中の留守家庭児童会室の利用希望をみると、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が48.3%で最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（39.6%）、「利用する必要はない」（4.0%）となっている。

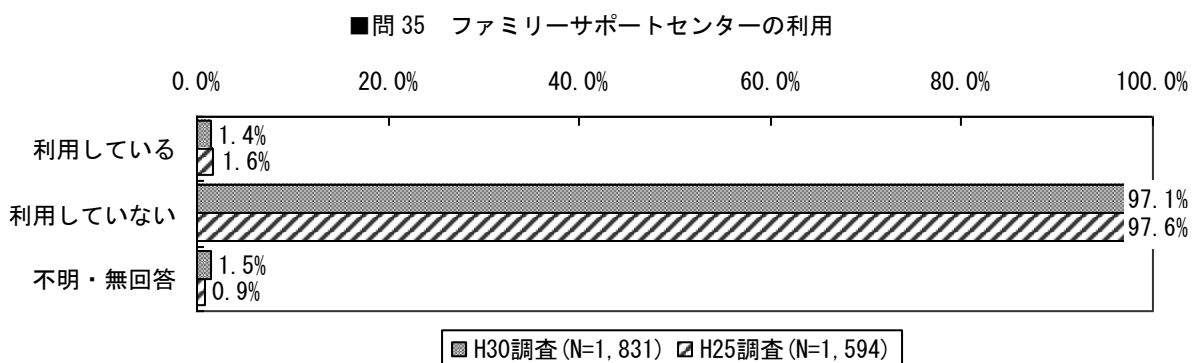
■問 34 長期休暇中の留守家庭児童会室の利用希望



問 35 ファミリーサポートセンターの利用

問 35 ファミリーサポートセンター（有償ボランティアによる子どもの預かりや送迎を受けられる事業）を利用していますか。（○は1つ）

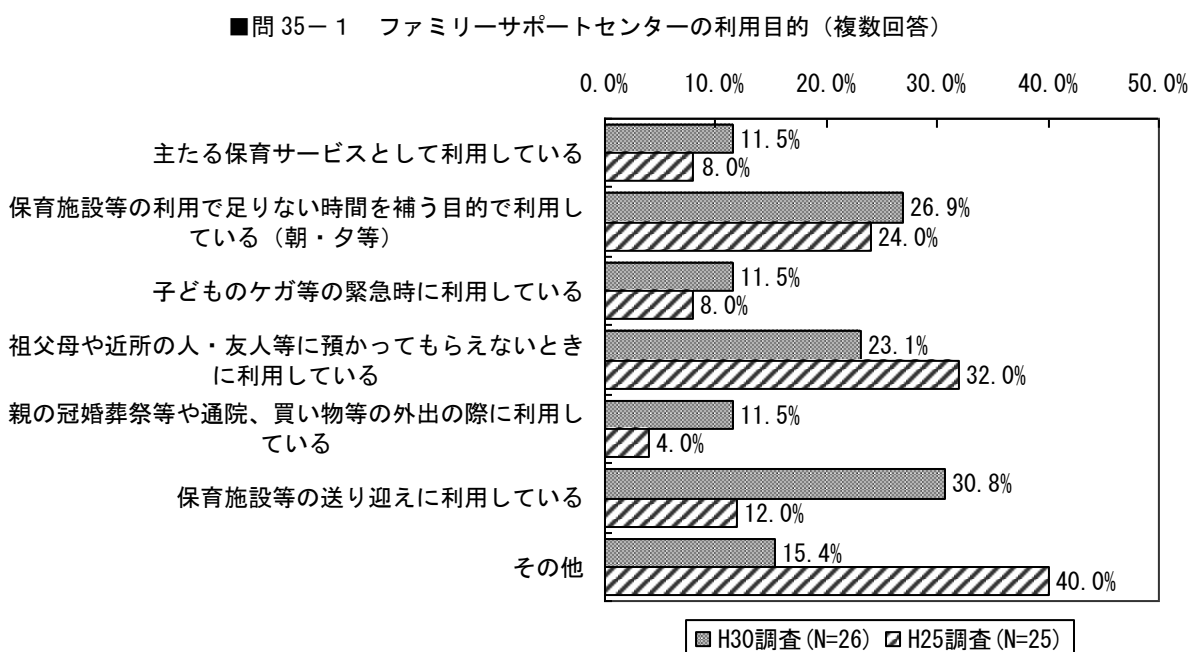
ファミリーサポートセンターの利用をみると、「利用していない」が97.1%、「利用している」が1.4%となっている。



問 35-1 ファミリーサポートセンターの利用目的

問 35-1 問 35 で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。どのような目的で利用していますか。（○はいくつでも）

ファミリーサポートセンターの利用目的をみると、「保育施設等の送り迎えに利用している」が30.8%で最も多く、次いで「保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）」(26.9%)、「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」(23.1%)となっている。

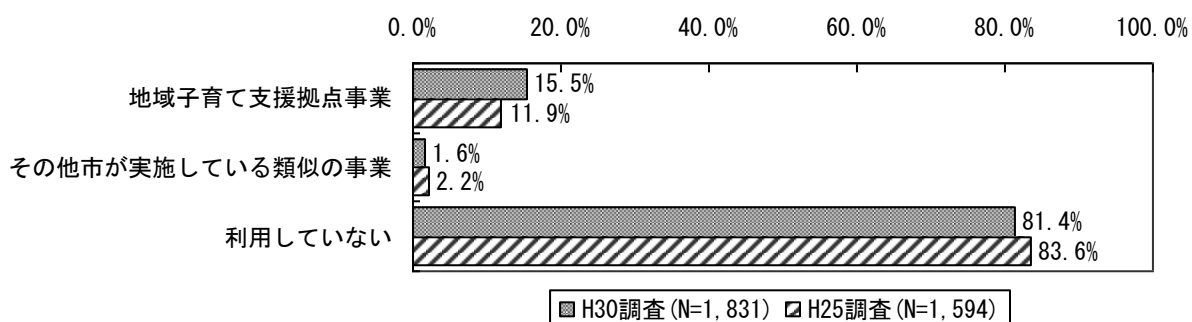


問 36 地域子育て支援拠点事業の利用

問 36 地域子育て支援拠点事業についてお伺いします。現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。(〇はいくつでも)

地域子育て支援拠点事業の利用状況をみると、「利用していない」が 81.4%で最も多く、次いで「地域子育て支援拠点事業」(15.5%)、「その他市が実施している類似の事業」(1.6%)となっている。

■問 36 地域子育て支援拠点事業の利用状況 (複数回答)

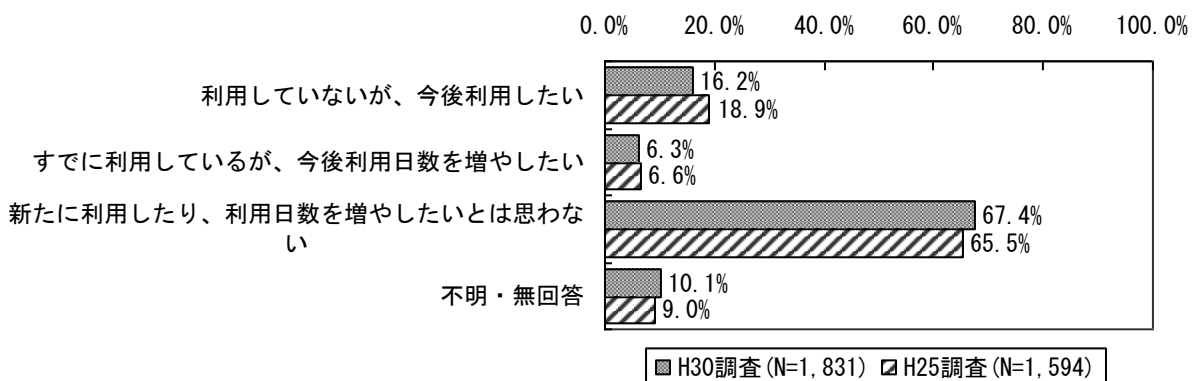


問 37 地域子育て支援拠点事業の利用希望

問 37 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(〇は1つ)

地域子育て支援拠点事業の利用希望をみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 67.4%で最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」(16.2%)、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(6.3%)となっている。

■問 37 地域子育て支援拠点事業の利用希望

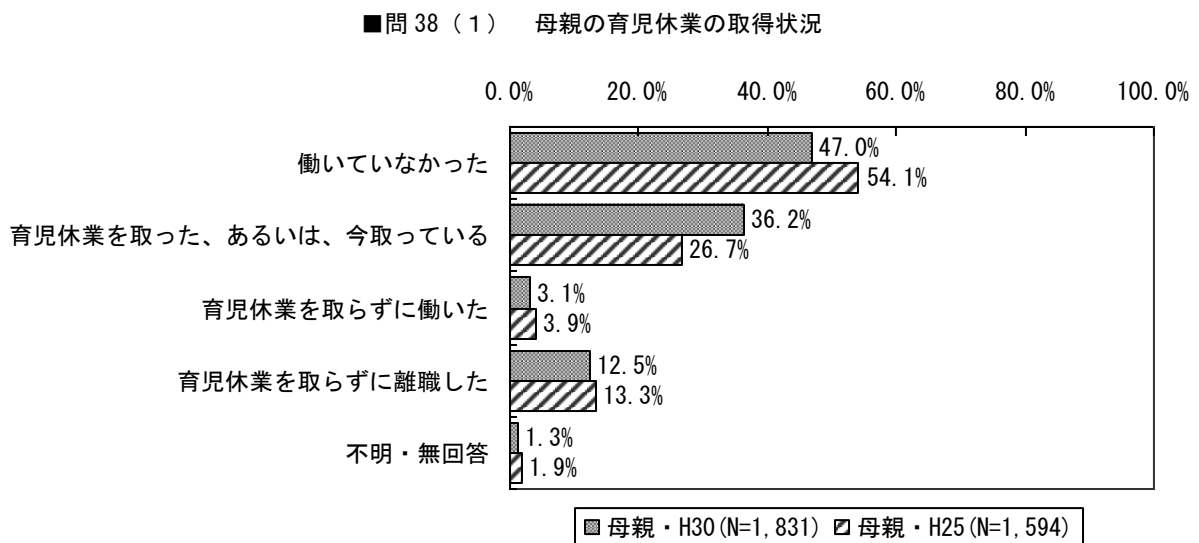


問 38 育児休業の取得状況

問 38 封筒のあて名のお子さんが生まれたときに、母親は育児休業をとられたかをお伺いします。

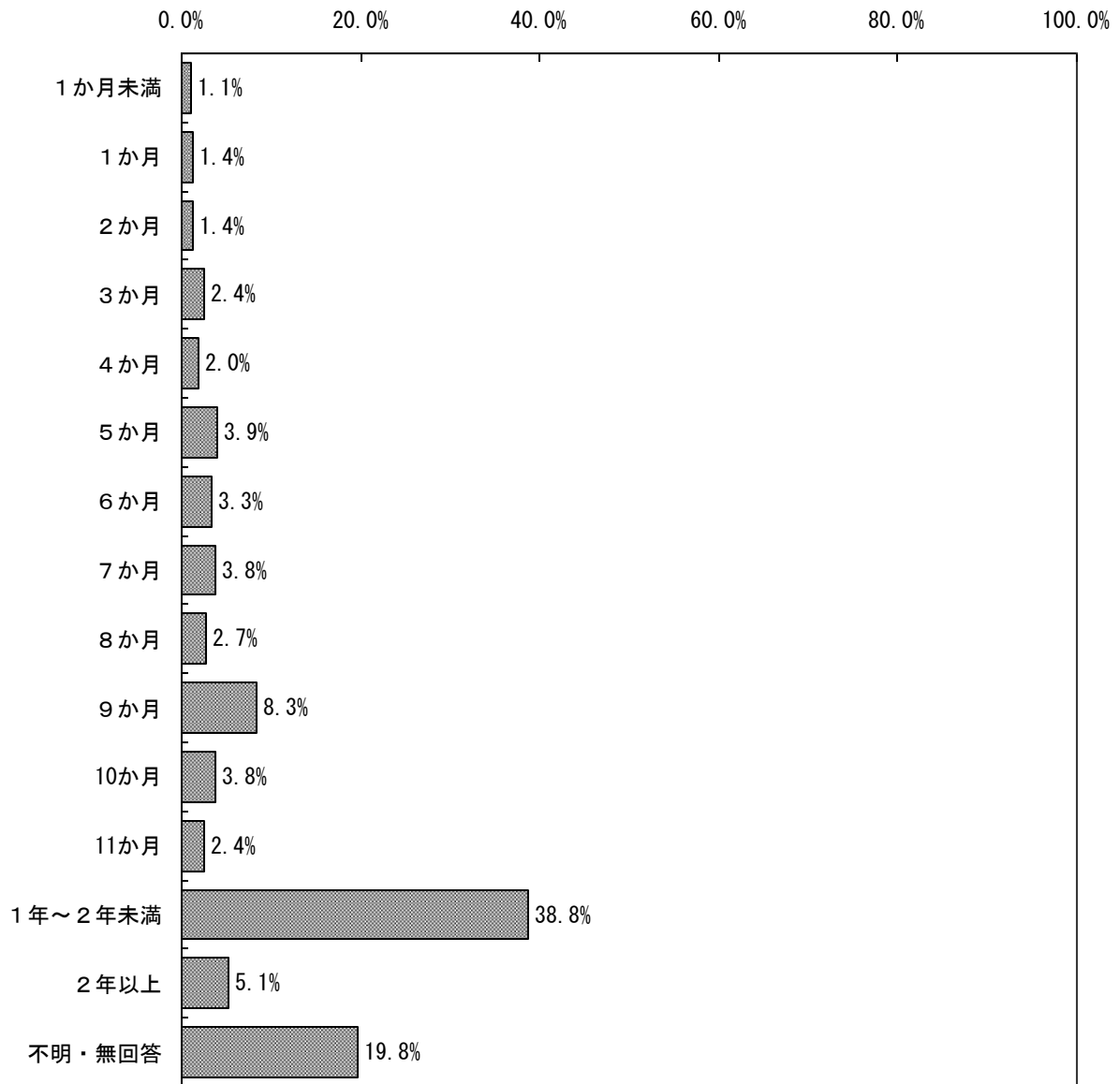
育児休業の取得状況をみると、母親では「働いていなかった」が47.0%で最も多く、次いで「育児休業を取った、あるいは、今取っている」(36.2%)、「育児休業を取らずに離職した」(12.5%)となっている。

育児休業の取得期間をみると、母親では「1年～2年未満」が38.8%で最も多く、次いで「9か月」(8.3%)、「2年以上」(5.1%)となっている。



■問 38 (1) 母親の育児休業の取得期間

(N=663)



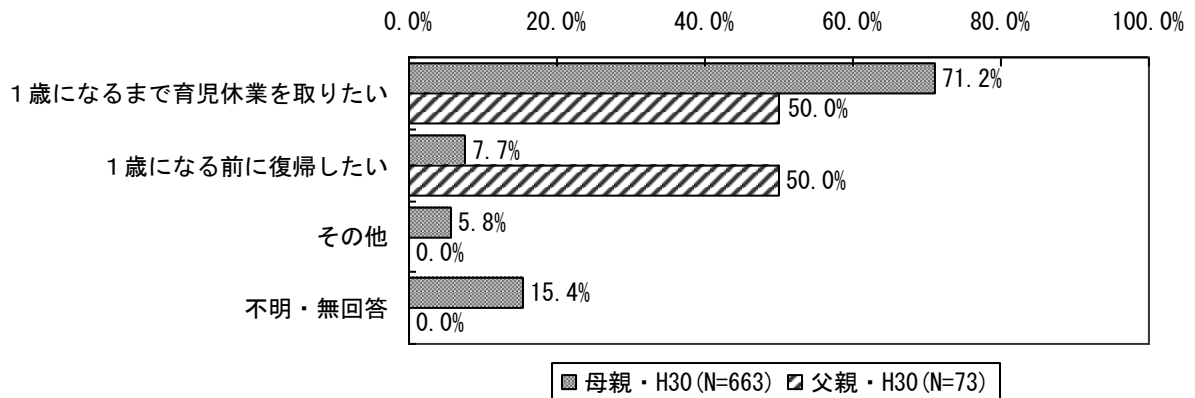
問 38-5 1歳時に保育所に預けられることを確約された場合の育児休業の取得意向

問 38-5 問 38-1で「2.」を選ばれた、現在も育児休業中の方で、お子さんが1歳未満の方にお伺いします。
 お子さんが1歳になった時点で、必ず保育所等に預けることができれば、1歳になるまで育児休業を取りますか。または、保育所等に預けられたとしても、1歳になる前に復帰しますか。

1歳時に保育所に預けられることを確約された場合の育児休業の取得意向をみると、母親では「1歳になるまで育児休業を取りたい」が71.2%、「1歳になる前に復帰したい」が7.7%となっている。

父親では「1歳になるまで育児休業を取りたい」「1歳になる前に復帰したい」がともに50.0%で同じ割合となっている。

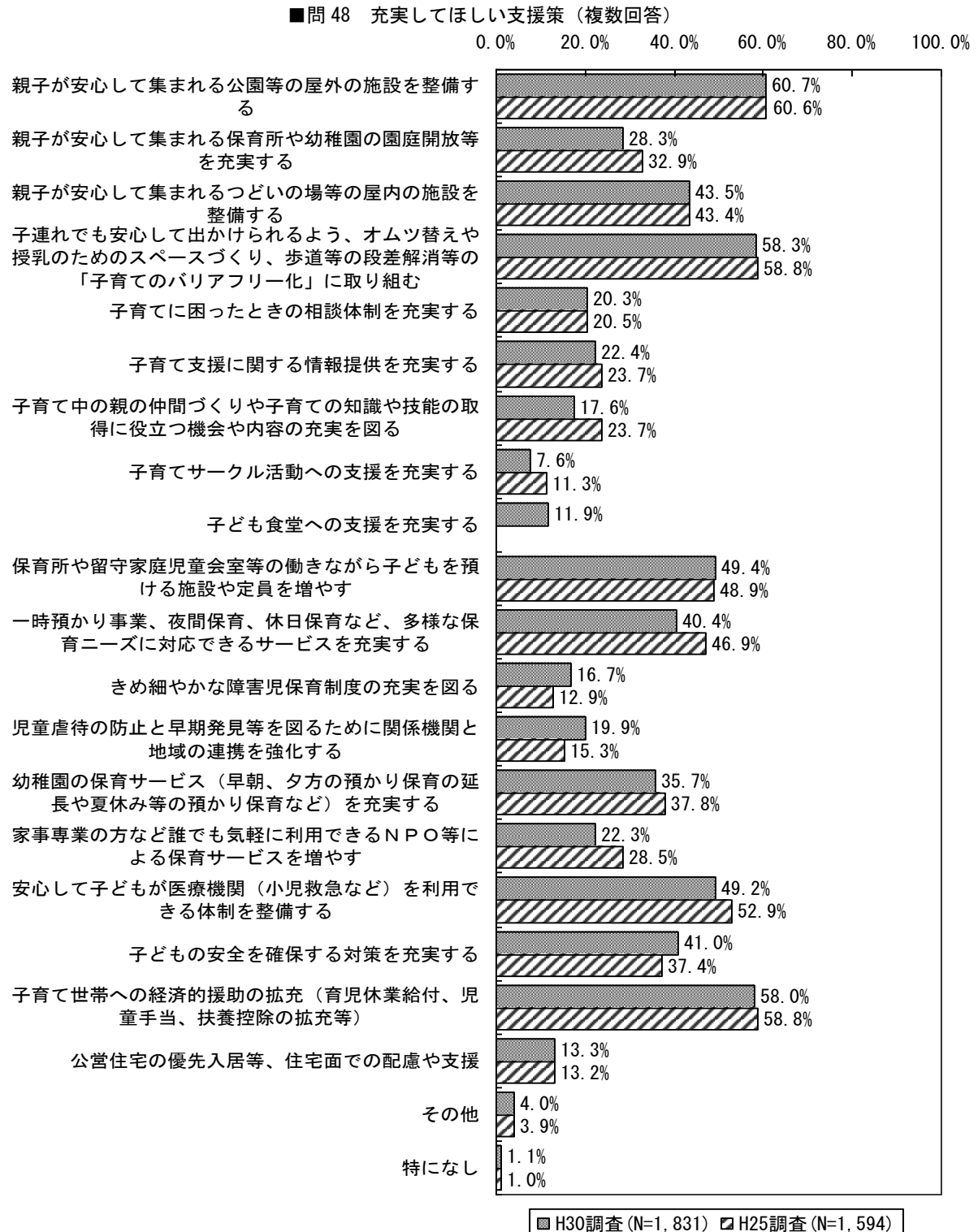
■問 38-5 (1)・(2) 母親・父親の育児休業の取得意向（1歳時に保育所に預けられることを確約された場合）



問 48 子育て支援策の充実

問 48 行政（市、府、国）に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図ってほしいですか。（〇はいくつでも）

充実してほしい支援策をみると、「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」が60.7%で最も多く、次いで「子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む」（58.3%）、「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等）」（58.0%）となっている。

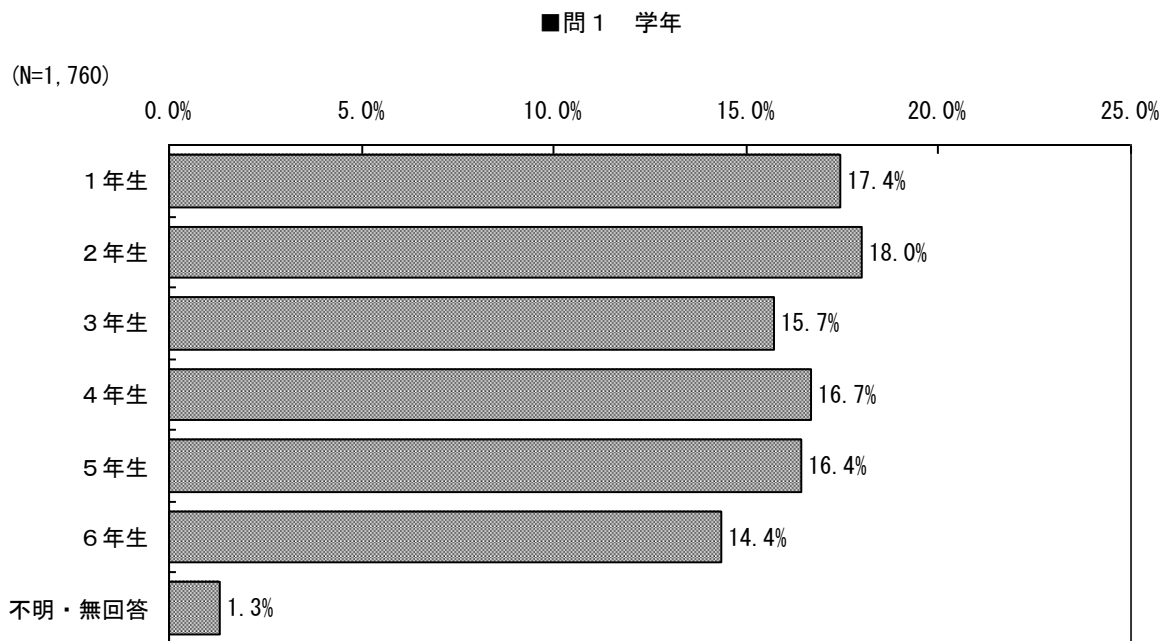


2. 小学生

問1 子どもの学年

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

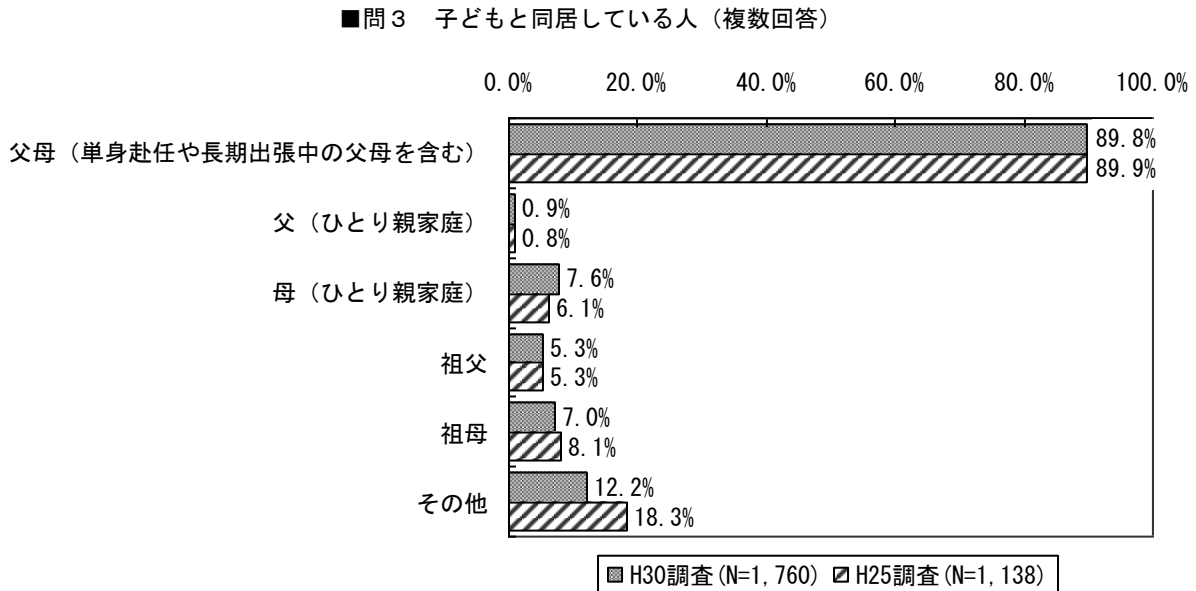
学年をみると、「2年生」が18.0%、「1年生」が17.4%、「4年生」が16.7%となっており、各学年の割合に大きな差はない。



問3 子どもとの同居の状況

問3 お子さんとの同居の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

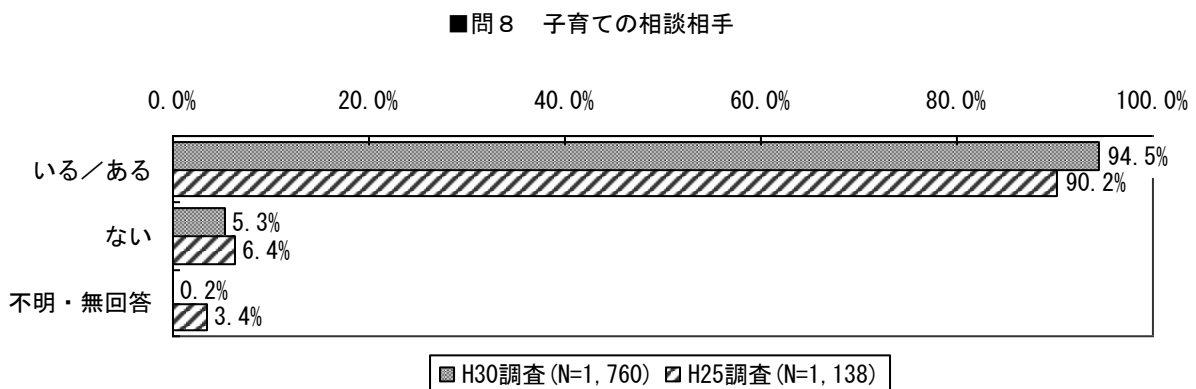
子どもと同居している人を見ると、「父母」が89.8%で最も多く、次いで「その他」(12.2%)、「母(ひとり親家庭)」(7.6%)となっている。



問8 子育てについて気軽に相談できる人・場所の有無

問8 お子さんの健康や教育など子育てについて、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

子育ての相談相手を見ると、「いる/ある」が94.5%、「ない」が5.3%となっている。



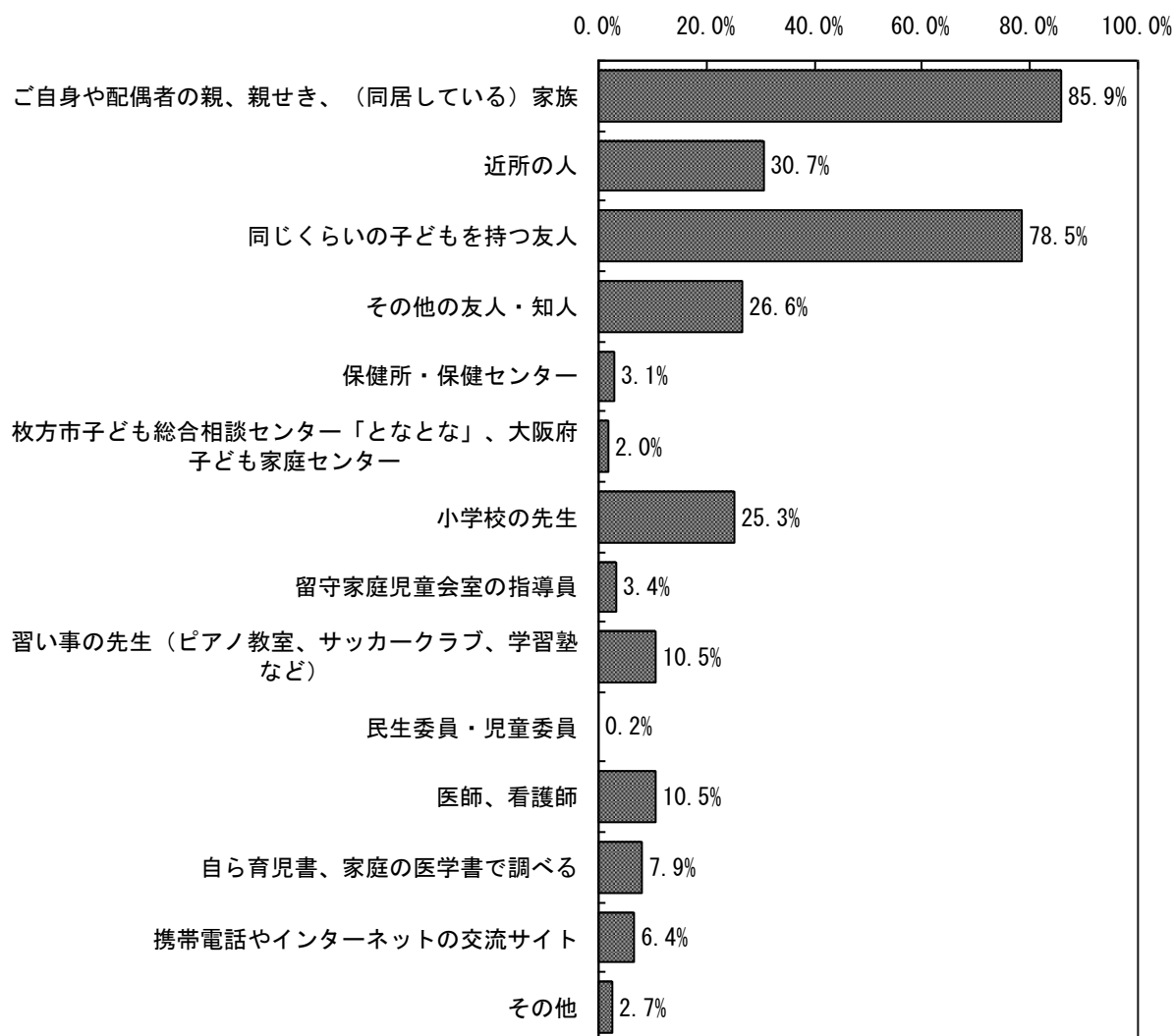
問8-1 子育てについて気軽に相談できる人・場所

問8-1 問8で「1. お子さんの健康や教育など子育てについて、気軽に相談できる人や場所がある／ある」を選ばれた方にお伺いします。
 気軽に相談できるのは、どのような人や場所などですか。(〇はいくつでも)

気軽に相談できる相手や場所をみると、「ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族」が85.9%で最も多く、次いで「同じくらいの子どもの持つ友人」(78.5%)、「近所の人」(30.7%)となっている。

■問8-1 気軽に相談できる相手や場所 (複数回答)

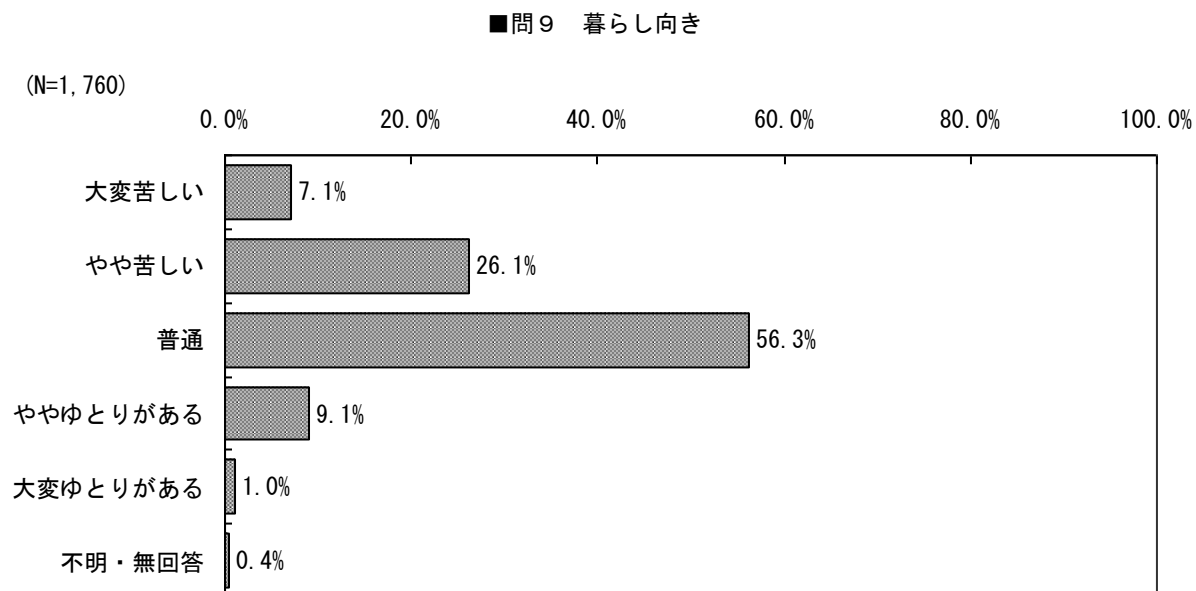
(N=1,663)



問9 現在の暮らし向き

問9 世帯の現在の経済的な暮らし向きについて、どう感じていますか。(〇は1つ)

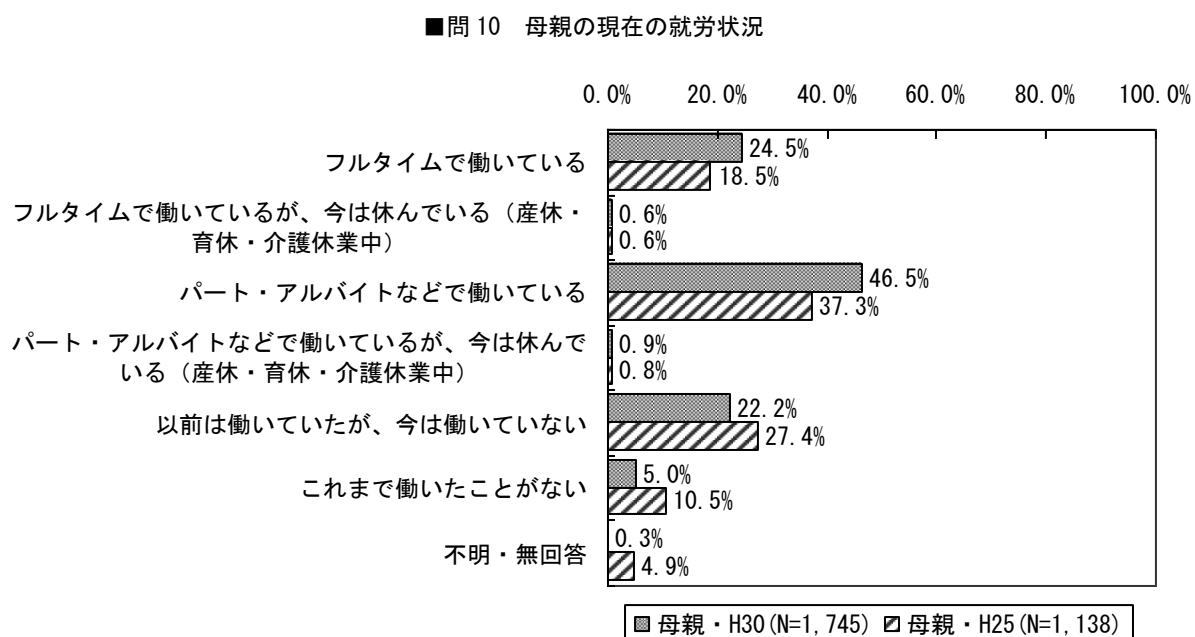
暮らし向きをみると、「普通」が56.3%で最も多く、次いで「やや苦しい」(26.1%)、「ややゆとりがある」(9.1%)となっている。



問 10 現在の就労状況

問 10 「母親」の働いている状況についてお伺いします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。(○は1つ)

現在の就労状況をみると、母親では「パート・アルバイトなどで働いている」が46.5%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」(24.5%)、「以前は働いていたが、今は働いていない」(22.2%)となっている。

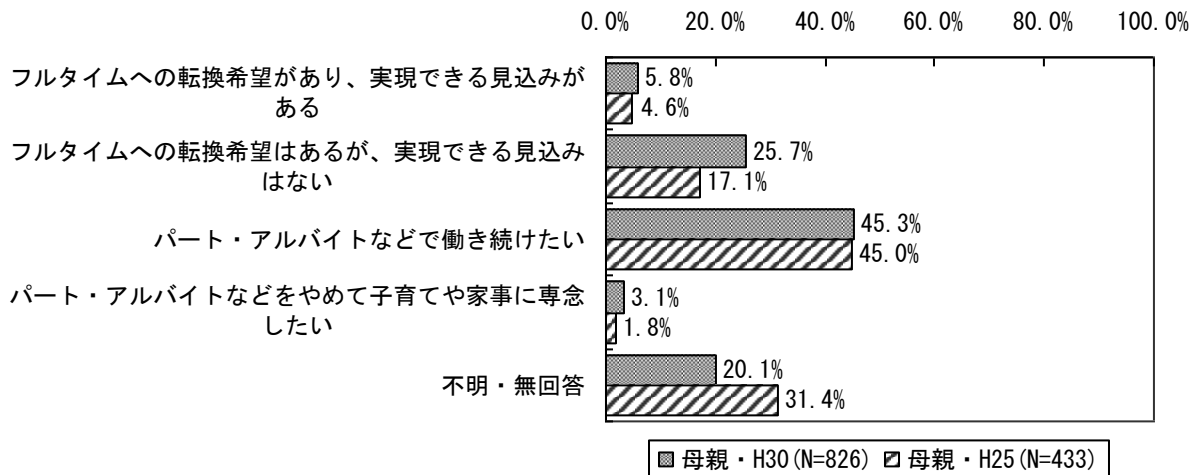


問 12 フルタイムへの転換希望

問 12 問 10 の就労状況で、「3.」または「4.」を選ばれた、パート・アルバイトなどで働いている方（休業中の方も含む）にお伺いします。
フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

フルタイムへの転換希望をみると、母親では「パート・アルバイトなどで働きたい」が45.3%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(25.7%)、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(5.8%) となっている。

■問 12（1） 母親のフルタイムへの転換希望



問 13 就労希望

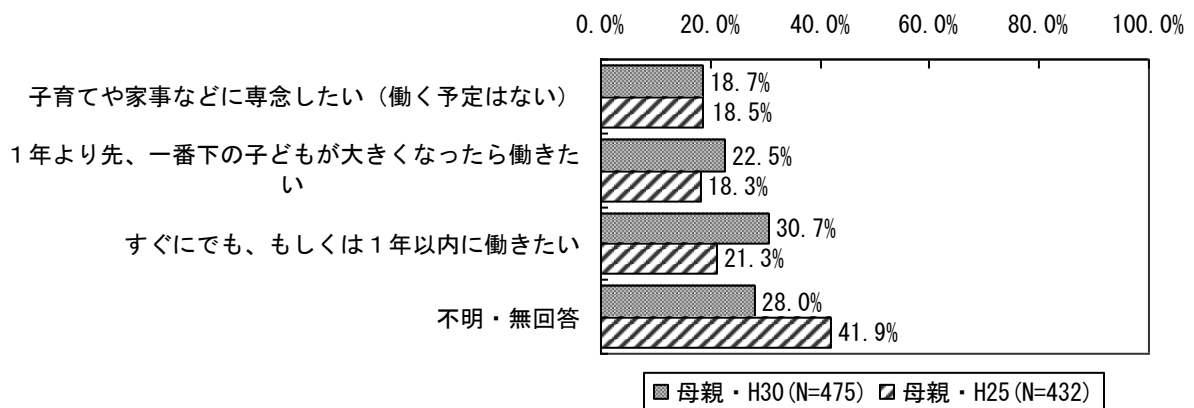
問 13 問 10 の就労状況で「5.」または「6.」を選ばれた、仕事をお持ちでない方にお伺いします。

働きたい希望はありますか。カッコ内には具体的な数字を入れてください。

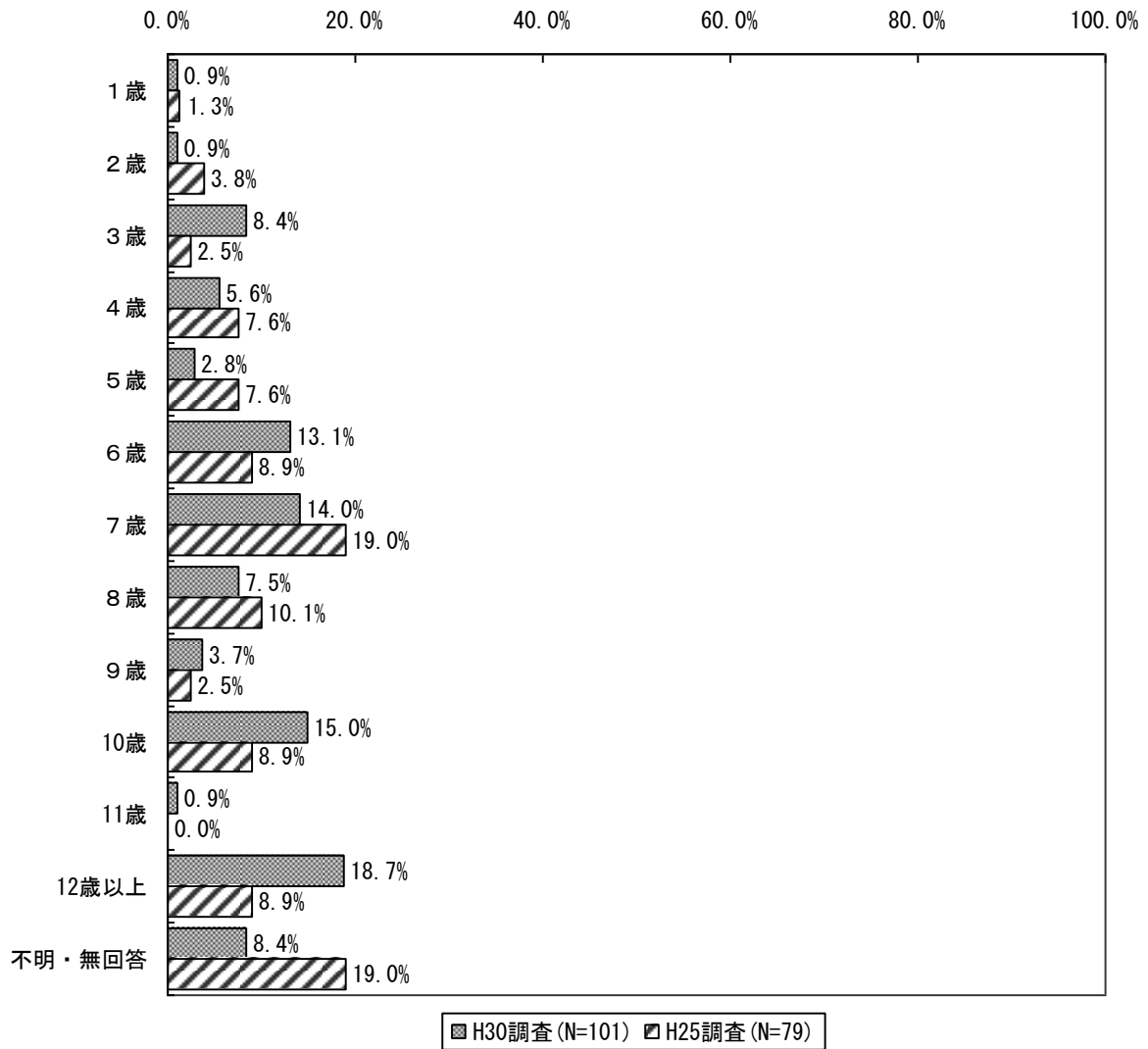
就労希望をみると、母親では「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が30.7%で最も多く、次いで「1年より先、一番下の子どもが大きくなったら働きたい」(22.5%)、「子育てや家事などに専念したい」(18.7%)となっている。

母親が就労を希望する末子の年齢をみると、「12歳以上」が18.7%で最も多く、次いで「10歳」(15.0%)、「7歳」(14.0%)となっている。

■問 13 (1) 未就労の母親の就労希望



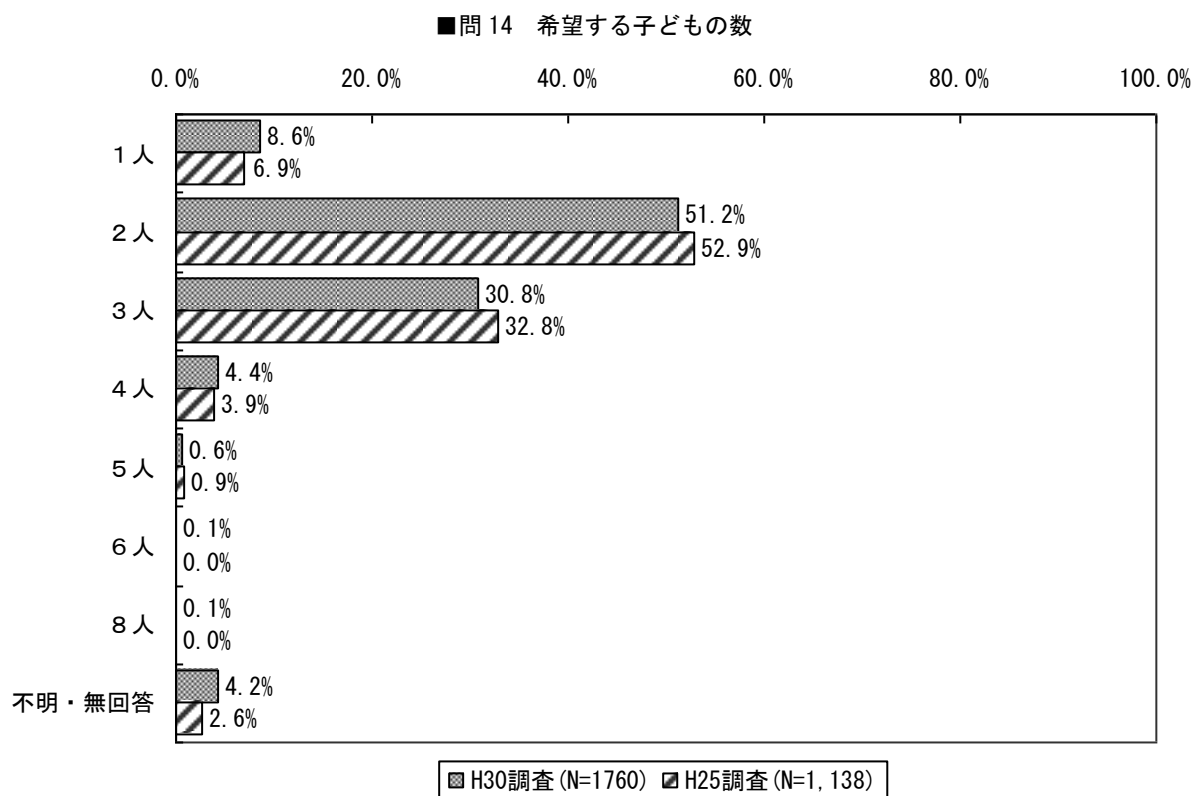
■問 13 (1) 母親が就労を希望する末子の年齢



問 14 希望する子どもの人数

問 14 希望するお子さんの数は何人ですか。

希望する子どもの数を見ると、「2人」が51.2%で最も多く、次いで「3人」(30.8%)、「1人」(8.6%)となっている。

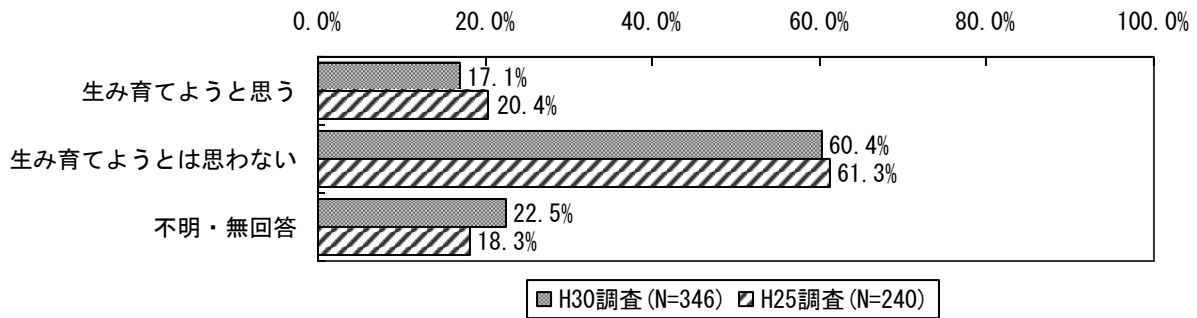


問 15 現在の環境においてもう一人子どもを生き育てること

問 15 希望するお子さんの数が現在のお子さんの数より多い方にお伺いします。現在の家庭・教育環境等においても、もう一人子どもを生き育てようと思いませんか。(○は1つ)

現在の環境においてもう一人生き育てることについてみると、「生き育てようとは思わない」が60.4%、「生き育てようと思う」が17.1%となっている。

■問 15 現在の環境においてもう一人生き育てることについて

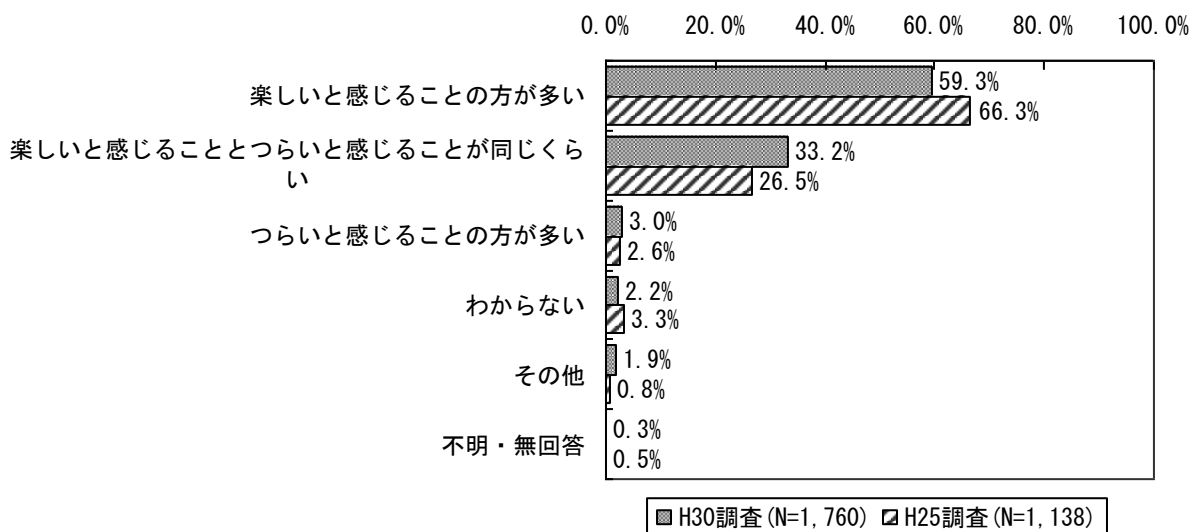


問 18 子育てに対する意識

問 18 子育てについて、どのように感じていますか (○は1つ)

子育てに対する意識をみると、「楽しいと感じることの方が多い」が59.3%で最も多く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」(33.2%)、「つらいと感じることの方が多い」(3.0%)となっている。

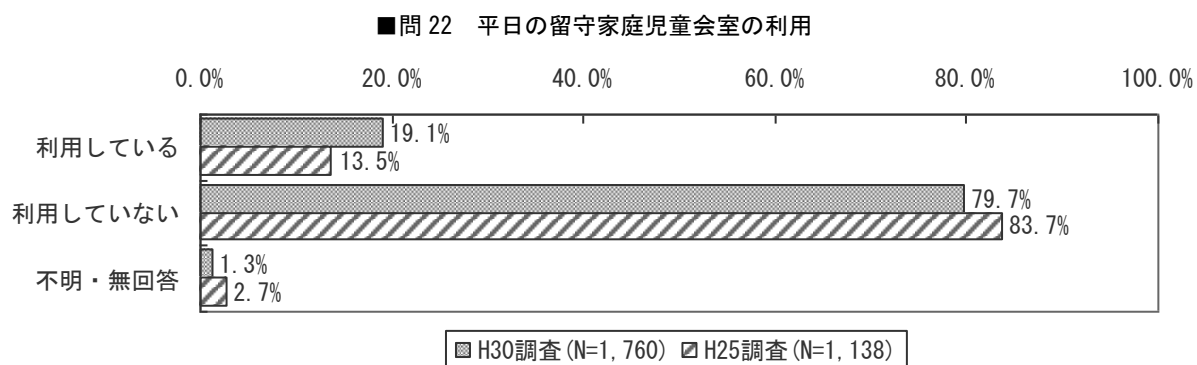
■問 18 子育てに対する意識



問 22 留守家庭児童会室の利用

問 22 平日（月曜日～金曜日）に、現在、留守家庭児童会室を利用されていますか。（○は1つ）

平日の留守家庭児童会室の利用をみると、「利用していない」が 79.7%、「利用している」が 19.1%となっている。

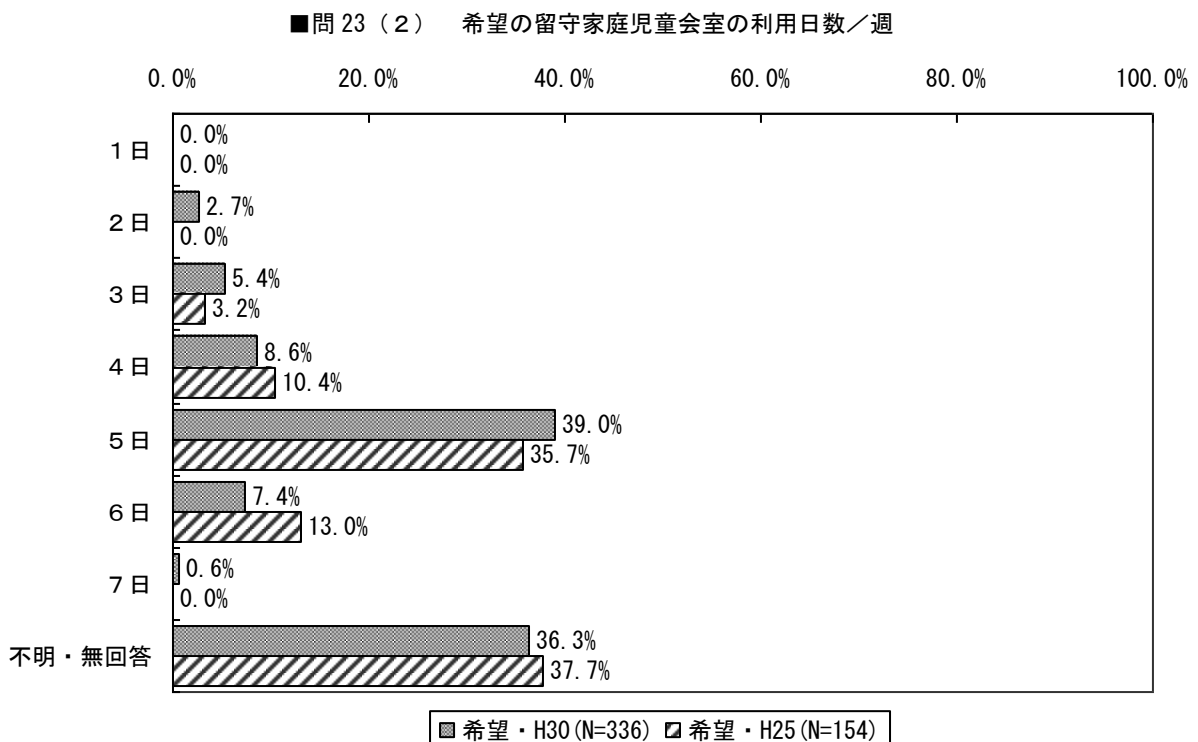
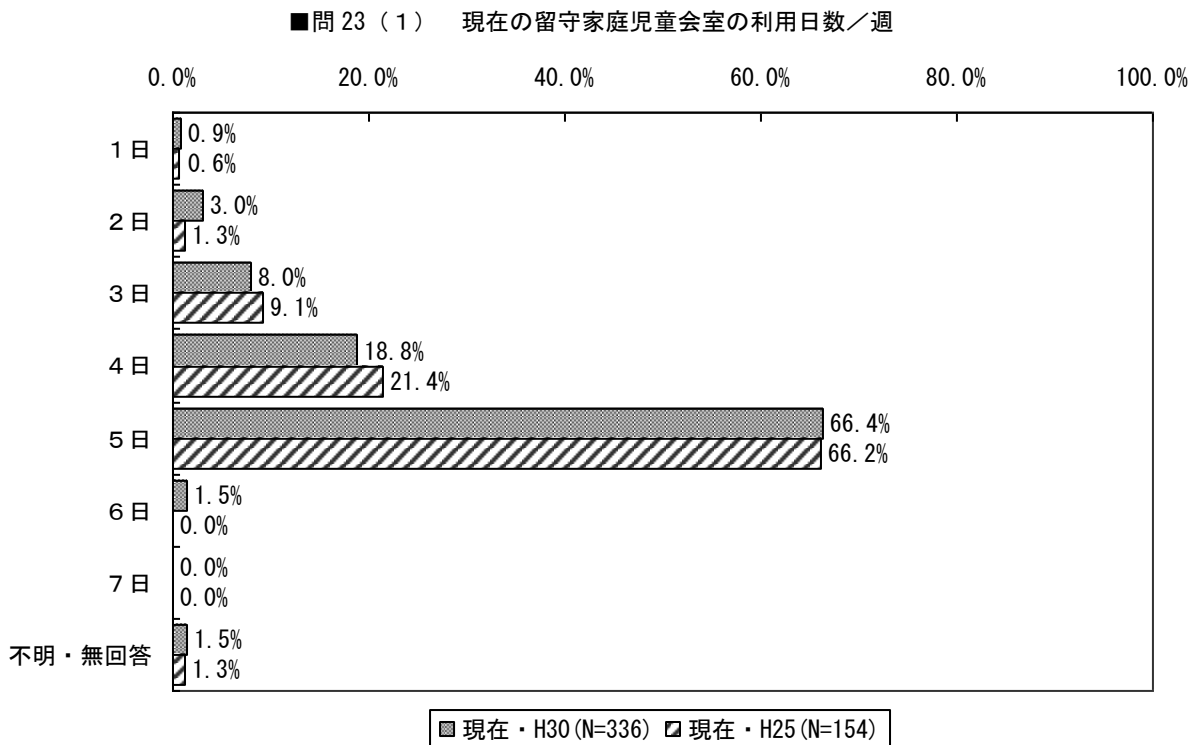


問 23 留守家庭児童会室の利用状況

問 23 問 22 で「1. 平日に留守家庭児童会室を利用している」を選ばれた方にお伺いします。現在利用している留守家庭児童会室について、もっとも多いパターンとして、1週間当たりどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。カッコ内に数字を入れてください。

留守家庭児童会室の1週当たりの利用日数をみると、現在では「5日」が66.4%で最も多く、次いで「4日」(18.8%)となっている。

希望では「5日」が39.0%で最も多く、次いで「4日」(8.6%)となっている。



問 23-2 留守家庭児童会室の土日祝日の利用希望

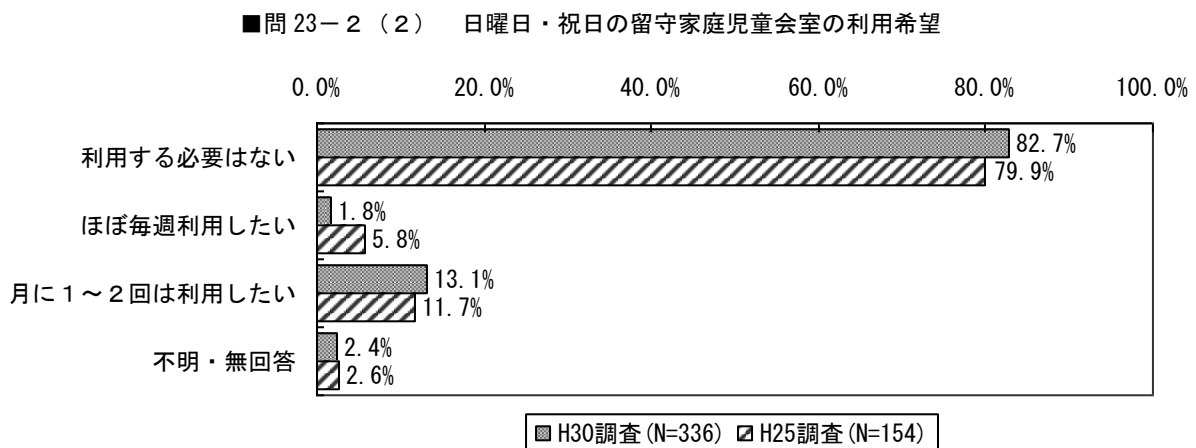
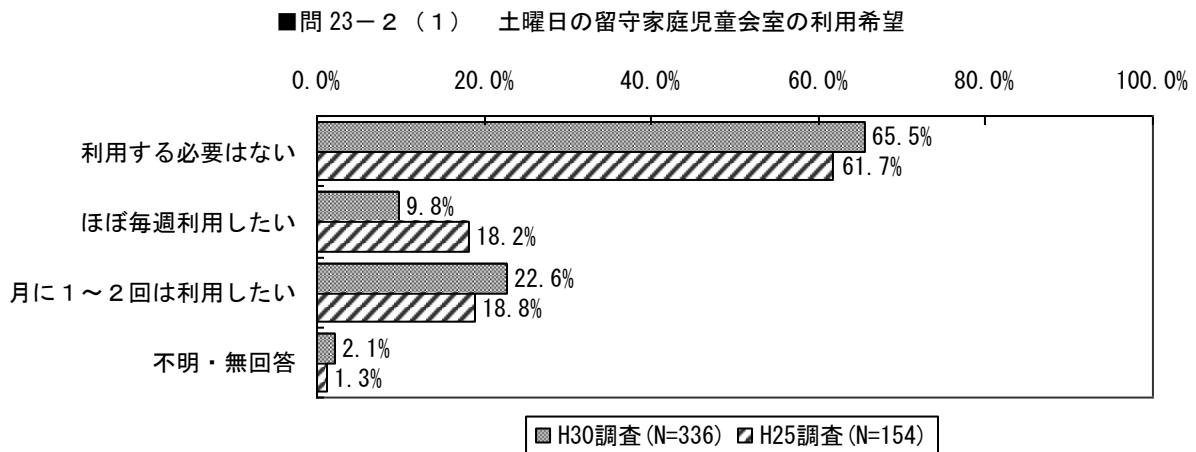
問 23-2 問 22 で、「1. 平日に留守家庭児童会室を利用している」を選ばれた方に引き続きお伺いします。
 土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童会室の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます) (○は1つ)

(1) 土曜日

土曜日の留守家庭児童会室の利用希望をみると、「利用する必要はない」が 65.5%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」(22.6%)、「ほぼ毎週利用したい」(9.8%) となっている。

(2) 日曜日・祝日

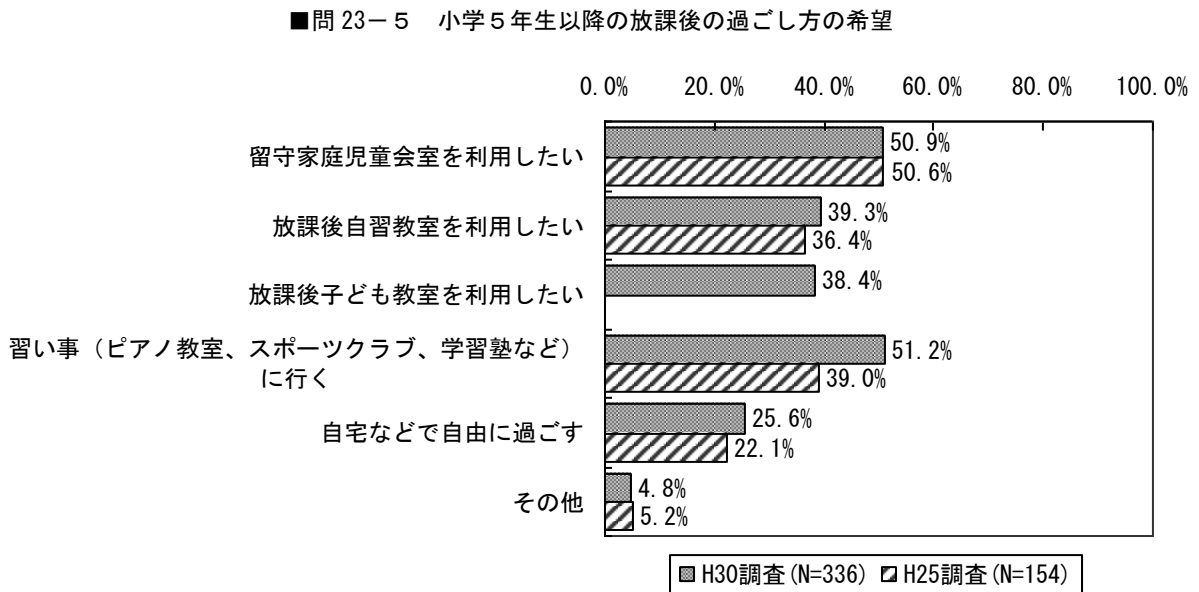
日曜日・祝日の留守家庭児童会室の利用希望をみると、「利用する必要はない」が 82.7%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」(13.1%)、「ほぼ毎週利用したい」(1.8%) となっている。



問 23-5 小学5年生以降の放課後の過ごし方

問 23-5 問 22 で、「1. 平日に留守家庭児童会室を利用している」を選ばれた方に引き続きお伺いします。
 小学5年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。(〇はいくつでも)
 「1. 留守家庭児童会室を利用したい」を選択した場合は、カッコ内に具体的な数字を入れてください。小学5・6年生のお子さんの保護者の方も、現状を踏まえてご回答ください。

小学5年生以降の放課後の過ごし方の希望をみると、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）に行く」が51.2%で最も多く、次いで「留守家庭児童会室を利用したい」（50.9%）、「放課後自習教室を利用したい」（39.3%）となっている。

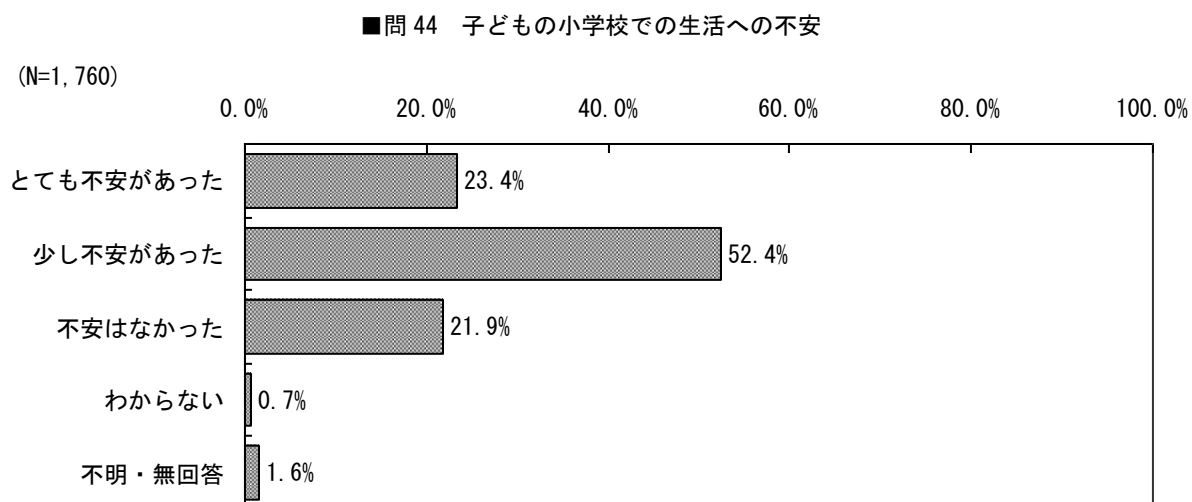


※H25 調査には選択肢「自宅などで自由に過ごす」がなく、選択肢「子どもに自宅の留守番をしてもらう」だった

問 44 小学校生活への不安の有無

問 44 あなたはお子さんが小学校に入学する際、小学校での生活などについてうまく過ごせるか不安がありましたか。(○は1つ)

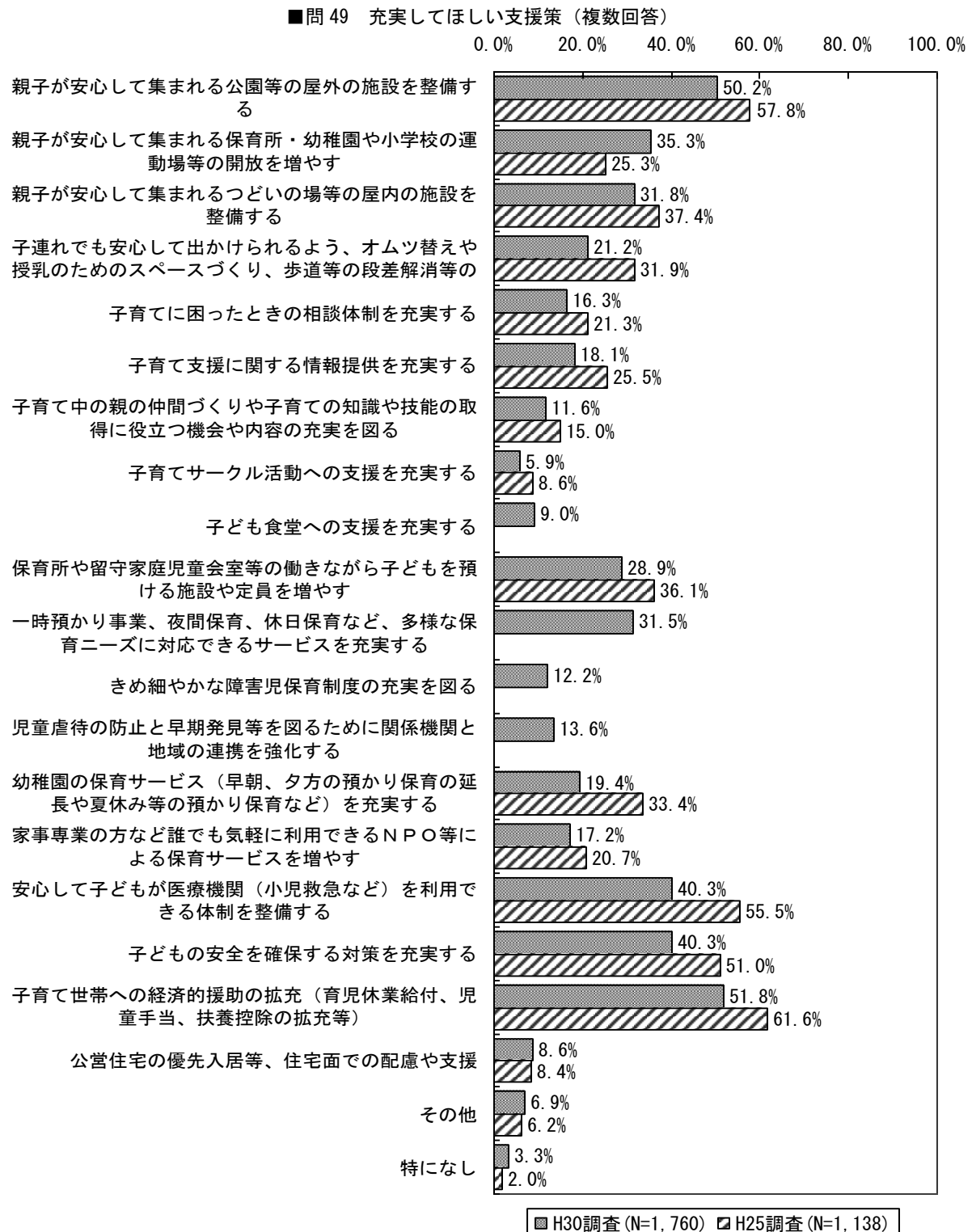
子どもの小学校での生活への不安をみると、「少し不安があった」が 52.4%で最も多く、次いで「とても不安があった」(23.4%)、「不安はなかった」(21.9%)となっている。



問 49 子育て支援策の充実

問 49 行政（市、府、国）に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図ってほしいですか。（〇はいくつでも）

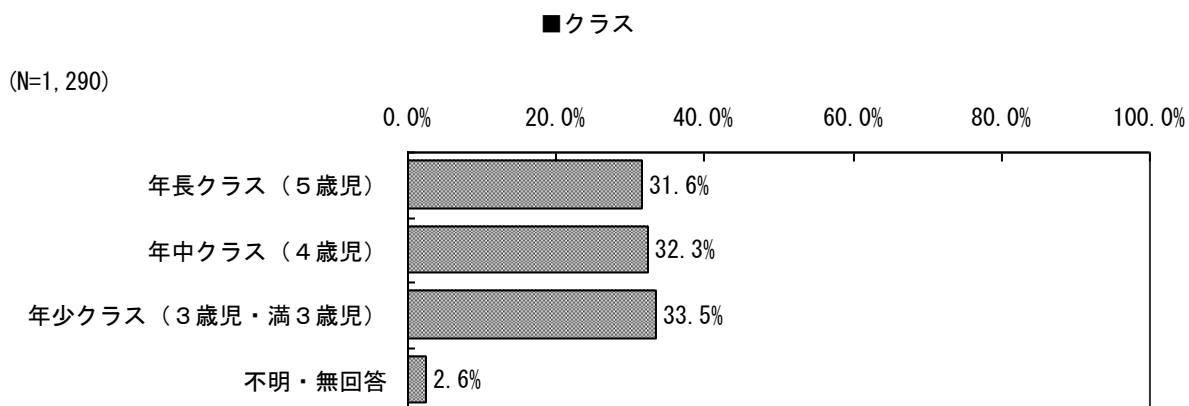
充実してほしい支援策をみると、「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等）」が 51.8%で最も多く、次いで「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」（50.2%）、「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」「子どもの安全を確保する対策を充実する」（ともに 40.3%）となっている。



3. 幼稚園児

◆園児のクラス

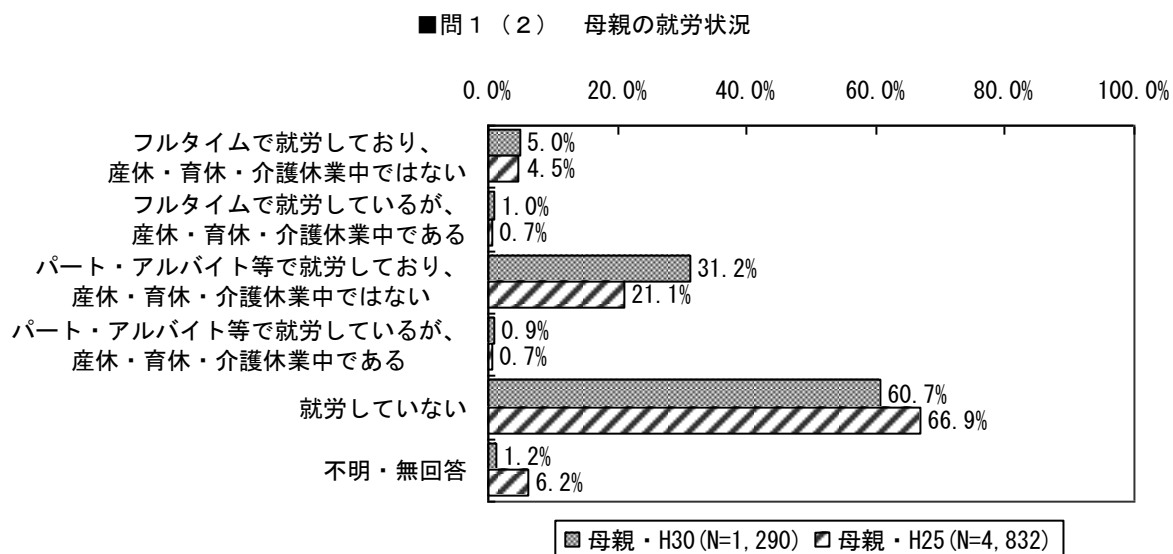
クラスをみると、「年少クラス（3歳児・満3歳児）」が33.5%、「年中クラス（4歳児）」が32.3%、「年長クラス（5歳児）」が31.6%となっており、各年齢の割合に大きな差はない。



問1 現在の就労状況

問1 現在の就労状況（自営業含む）についてお伺いします。

就労状況をみると、母親では「就労していない」が60.7%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（31.2%）、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（5.0%）となっている。



問1(2)-1 就労日数・就労時間

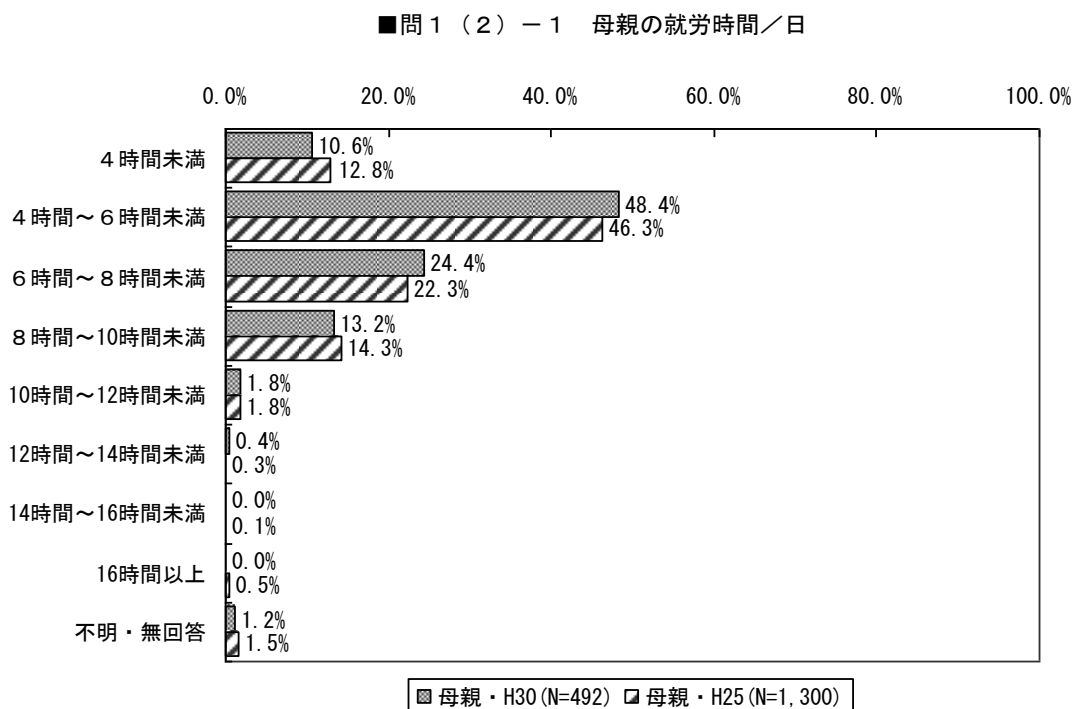
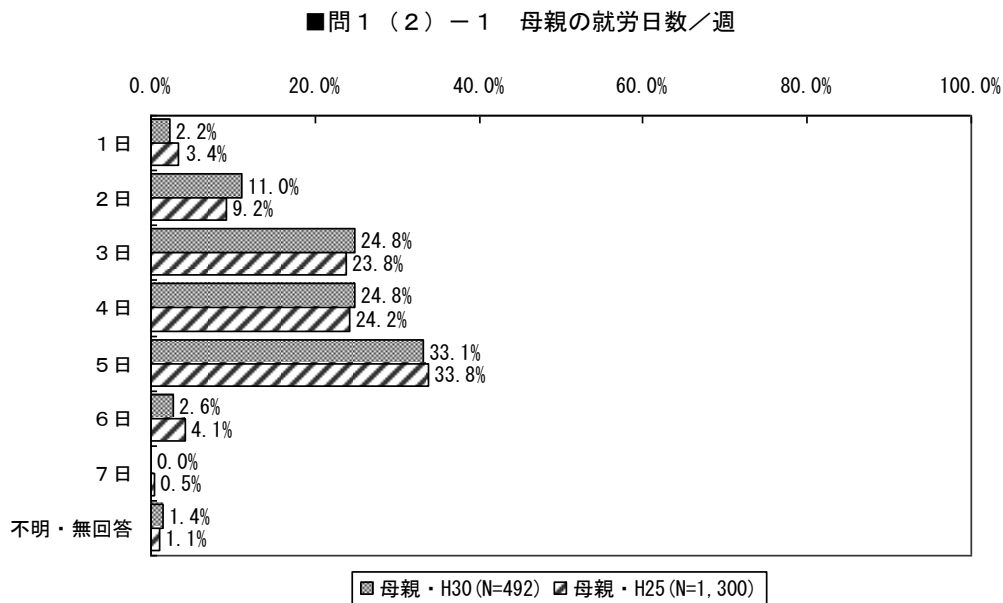
問1(2)-1

(1)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にお伺いします。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たりの就労日数をみると、母親では「5日」が33.1%で最も多く、次いで「3日」「4日」(ともに24.8%)となっている。

1日当たりの就労時間をみると、母親では「4時間～6時間未満」が48.4%で最も多く、次いで「6時間～8時間未満」(24.4%)、「8時間～10時間未満」(13.2%)となっている。

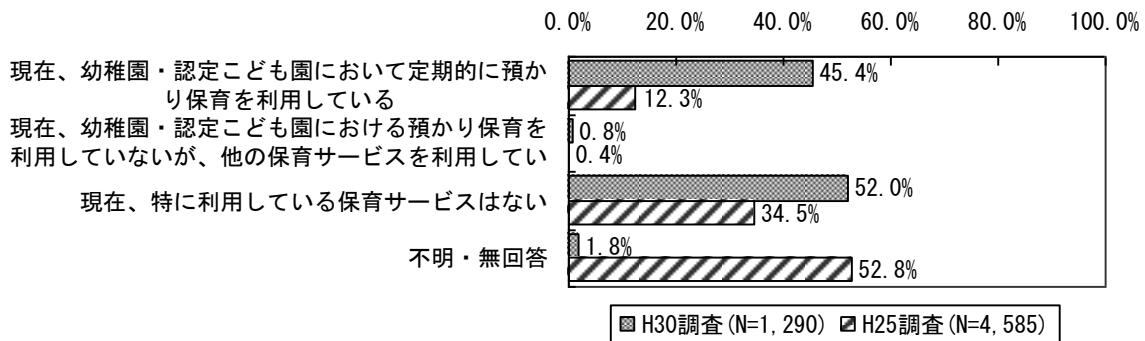


問2 預かり保育の利用状況

問2 現在、通園されている幼稚園・認定こども園における預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業。以下同じ。）の利用状況等についてお答えください。

幼稚園・認定こども園の預かり保育の利用状況を見ると、「現在、特に利用している保育サービスはない」が52.0%で最も多く、次いで「現在、幼稚園・認定こども園において定期的に預かり保育を利用している」(45.4%)、「現在、幼稚園・認定こども園における預かり保育を利用していないが、他の保育サービスを利用している」(0.8%)となっている。

■問2（1） 幼稚園・認定こども園の預かり保育の利用状況



問2（1）－1 預かり保育の利用日数・利用時間

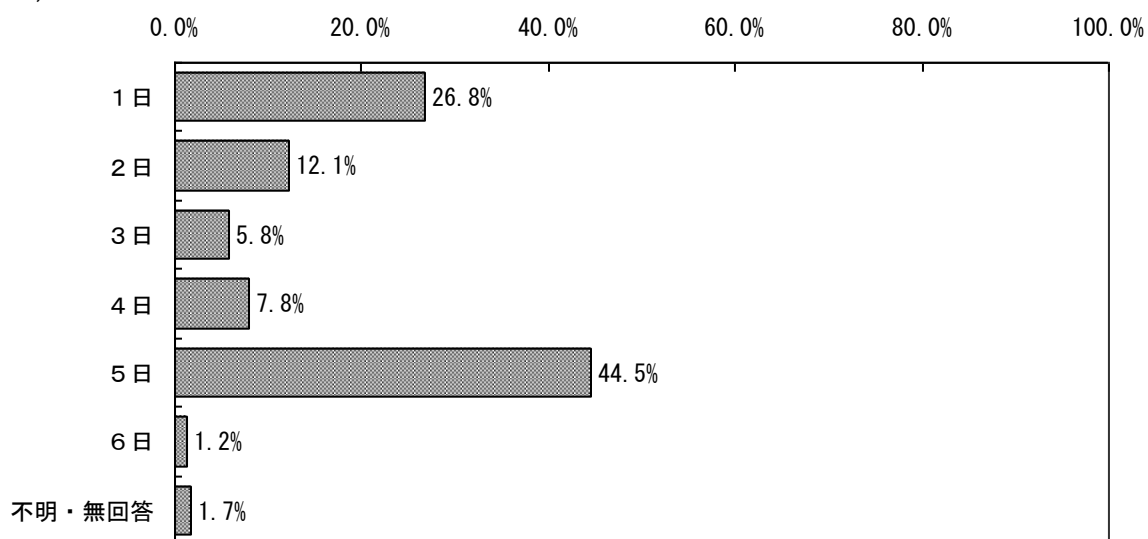
問2（1）－1 問2の（1）で「1. 現在、幼稚園・認定こども園において定期的に預かり保育を利用している」に○をつけた方にお伺いします。
 預かり保育の週当たりの「利用日数」、1日当たりの「利用時間」をお答えください。利用日数や利用時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

預かり保育の1週当たりの利用日数をみると、「5日」が44.5%で最も多く、次いで「1日」(26.8%)、「2日」(12.1%)となっている。

預かり保育の1日当たりの利用時間をみると、「2時間」が29.5%で最も多く、次いで「3時間」(24.4%)、「5時間」(13.7%)となっている。

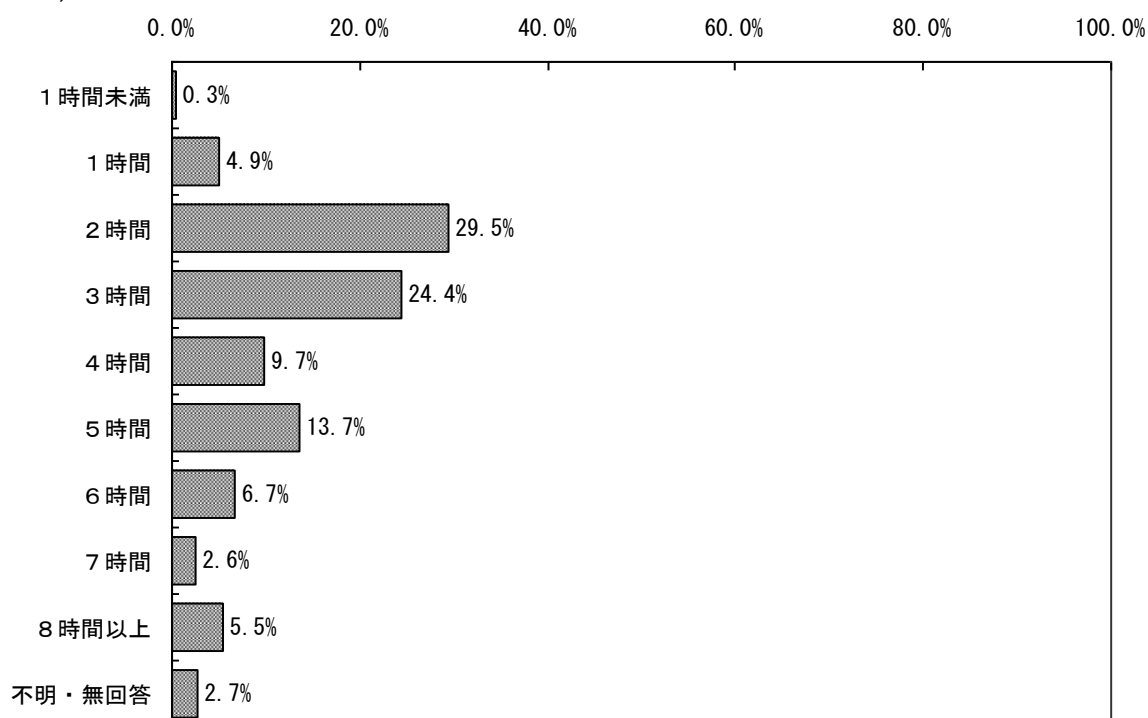
■問2（1）－1 預かり保育の利用日数／週

(N=586)



■問2（1）－1 預かり保育の利用時間／日

(N=586)



問3 就労希望

問3 問1(1)または(2)の就労状況で、「5.」(父親もしくは母親が就労していない)に○をつけた方にお伺いします。

働きたいという希望はありますか。(○はひとつ)

また、()内には具体的な数字を入れてください。

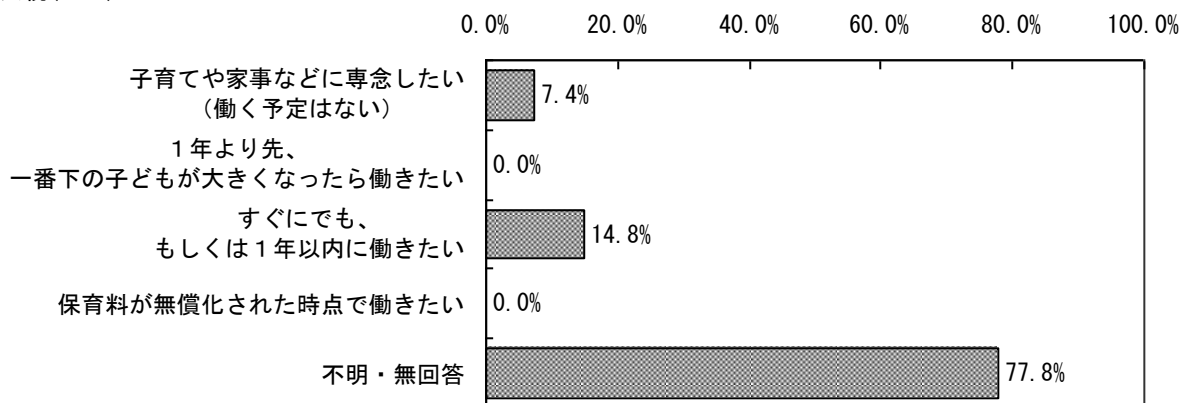
就労希望をみると、父親では「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が14.8%、「子育てや家事などに専念したい」が7.4%となっている。

母親では「1年より先、一番下の子どもが大きくなったら働きたい」が50.1%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」(24.3%)、「子育てや家事などに専念したい」(20.8%)となっている。

母親が就労を希望する末子の年齢をみると、「7歳」が22.2%で最も多く、次いで「3歳」(19.1%)、「6歳」(17.6%)となっている。

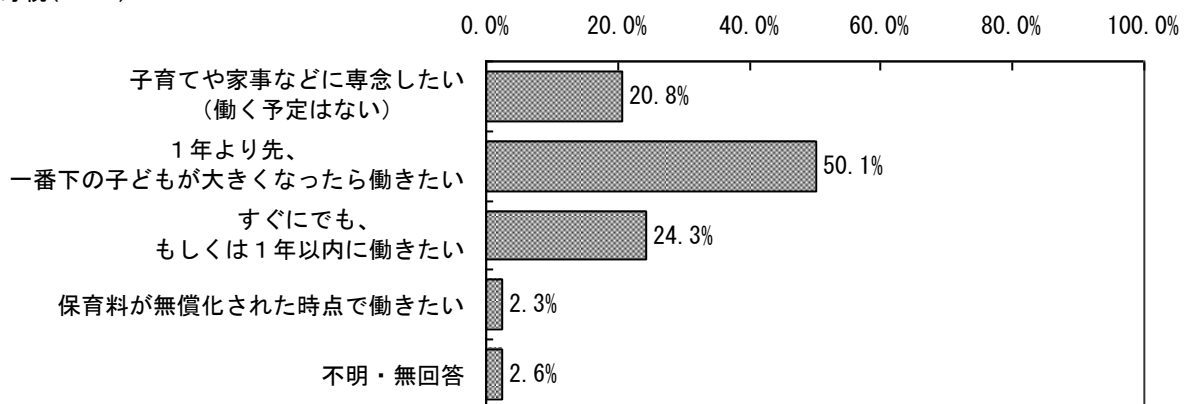
■問3(1) 未就労の父親の就労希望

父親(N=27)

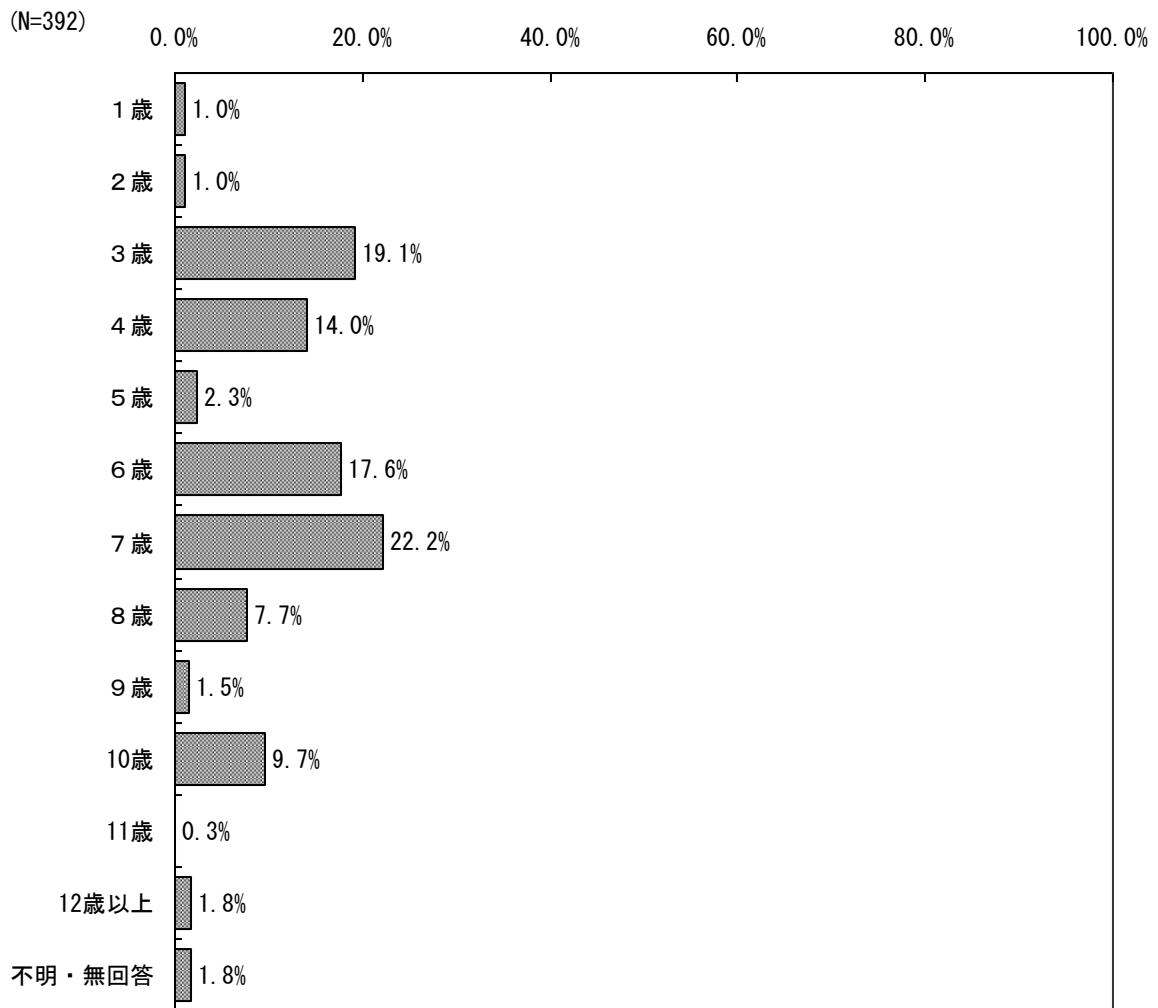


■問3(2) 未就労の母親の就労希望

母親(N=783)



■問3(2) 母親が就労を希望する末子の年齢

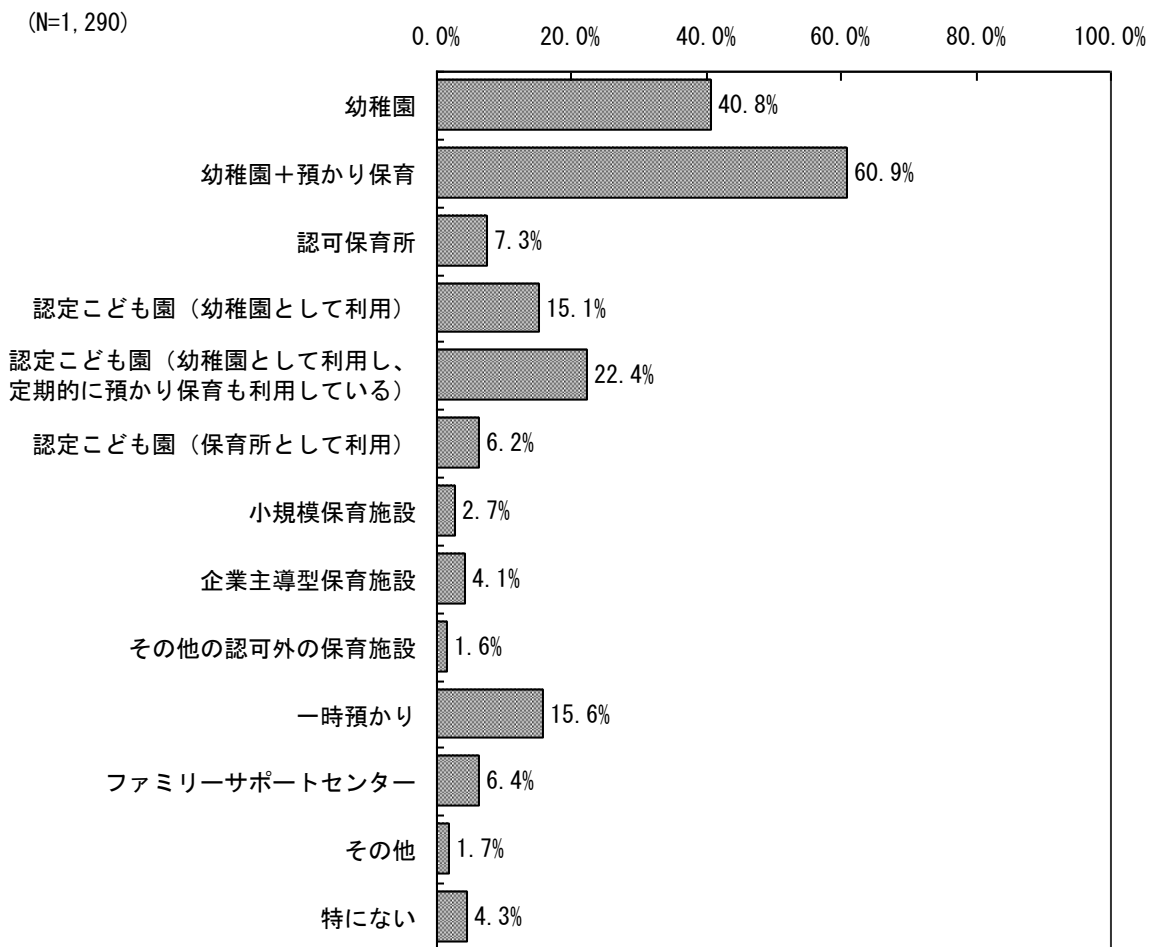


問4 平日に利用したい保育サービス

問4（1） 現在利用している・していないに関わらず「定期的に」利用したい保育サービス（継続も含む）をお答えください。（〇はいくつでも）

定期的に利用したい保育サービスをみると、「幼稚園＋預かり保育」が60.9%で最も多く、次いで「幼稚園」（40.8%）、「認定こども園（幼稚園として利用し、定期的に預かり保育も利用している）」（22.4%）となっている。

■問4（1） 定期的に利用したい保育サービス（複数回答）

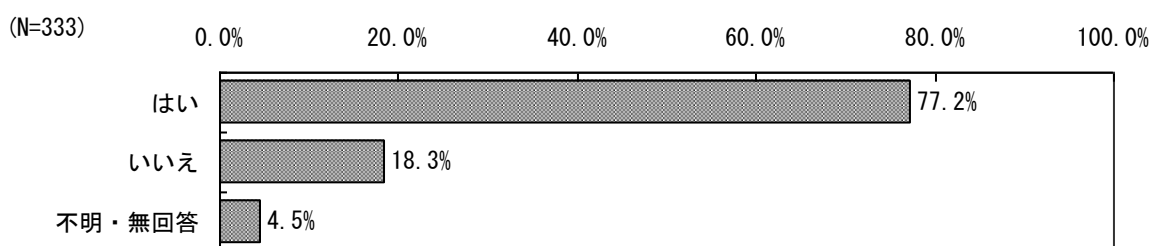


問4（2） 特に幼稚園の利用を強く希望するか

問4（2） 問4の（1）で幼稚園の利用を希望（「1.」「2.」「4.」「5.」のいずれかを選択）している方で、その他の保育サービスの利用も希望（「3.」または「6.」～「12.」のいずれかを選択）している方にお伺いします。
他の施設より、特に幼稚園または認定こども園（幼稚園として利用）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

他の施設より幼稚園・認定こども園の幼稚園利用を強く希望するかをみると、「はい」が77.2%、「いいえ」が18.3%となっている。

■問4（2） 他の施設より幼稚園・認定こども園の幼稚園利用を強く希望するか



子ども・子育て支援に関するアンケート調査
【速報】

平成31年3月

枚方市 子ども青少年部 子ども青少年政策課

〒573-8666 大阪府枚方市大垣内町2丁目1番20号

TEL. 072-841-1375 (直通) FAX. 072-843-2244